

所得稅法中改正法律案外二十一件特別委員會議事速記錄第三號

大正十五年三月四日(木曜日)午前十時三
十七分開會 ○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ開會イ
タシマス……
〔男爵藤村義朗君發言ノ許可ヲ求ム〕
〔添田壽一君發言ノ許可ヲ求ム〕
○委員長(子爵前田利定君) 左右田君ハ昨
日ノ質問ニ索囁シテ質問ヲナサレタイト云
フコトデアリマスカラ、添田君ニ御諮リ致
シマスガ、其後トニ願ヒタイト思ヒマス
〔添田壽一君「何時デモ宜シウゴザイマ
ス」ト述フ〕
○委員長(子爵前田利定君) 左右田君
○左右田喜一郎君 昨日政府ニ對シテ資本
利子稅ト第一所得稅トノ關係ニ付テ御質問
ヲ致シタノデアリマスガ、最後ハ聊カ討論
ノ氣味ニナフテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、其點ハ
御列席ノ委員ニ深ク御詫ビヲ申上ダマス、
從テ昨日申上ダタコトヲ私ハ此處ニ繰返シ
テ申上ダルコトハ致シマセヌガ、政府ガ、
當局ガ屢々御聲明ニナリマスニモ拘リマセ
ズ、資本利子稅ト第二所得稅トハ或心意味
ニ於テ重複課稅ニナラヌカト云フコトヲ私
ハ深ク疑フノデアリマス、無論特別所得稅
トカ或ハ財產稅ト云フヤウナモノハ、一般
所得ニ又更ニ課セラレルト云フ意味ニ於テ
重複ト云フヤウナコトヲ申ス譯デハアリマ
セヌ、一般ニ同ジモノガ一方ニ於テ課セラ
レ、他ノ方ニ於テ又課セラレルト云フコト
ニ依ツテ、或ル一種ノ意味ニ於テ重複課稅
デアルト云フコトハ免レナイデヤナイカト
云フ感ジガ致シマス、或ハソレハ同一ノ租
稅デアッテ、即チ第二所得稅ノ方ニ資本利

子税ヲ繰込ンデ行クカ、或ハ昨日チヨント申上ダタヤウニ、資本利子税ノ方ニ第一所得ト云フモノヲ繰込ムカ、何カスルヤウヤウニ、此二ツノモノガ課税物件ニ依テ、課税物件ハ同ジデアッテモ、觀念ノ上デ之ヲス、ソレデ若シ政府當局ガ聲明セラレマス、ソレナカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、ソレデナケレバナラヌ、全ク獨立ニ考ヘナベレバナラヌノダト云ノノデアルナラバ、私ハドッカノ點デ重複課税ト違タ結果ガ出テ來ナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、從フテ其意味ニ於テ若シ此二ツノ税ガ全ク獨立ノモノデアルト云フコトヲ徹底的ニ考ヘナラバ、昨日私が申上ダマシタヤウニ、大分曲リクネタヤウナソンナ妙ナ理窟モ成立シ得ベキ餘地ガアルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ申上ダタカタノデアリマス、然ルニ御前ノ言フヤウナ、ソンナ妙ナ理窟ハ成立タヌト言ハレバ言ハレル程、私ハ其場合ニ於テ、其前提トシテ考ヘラレル資本利子税ト第二所得税ト云フモノカ、獨立ノモノデアルト云フコト、其コト自身ニ疑ヒヨ存ヌベキデハナイカト云フコトヲ深ク感ズルノデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、資本利子税ト第二所得税トハ、或ル意味ニ於テドウシテモ重複課税ニナルノデハナイカト云フ感ジガスルノデアリマス、之ニ對シテ政府當局ト致シマシテハ、大臣初メ、政府委員ノ方ニガ、是ハ重複課税デヤナイ、第二所得税ト資本利子税トハ全ク別ニノ税デアッテ、サウシテソレドノ立場ガアルノデアルト云フ御説明ハ、衆議院ニ

於テモ亦貴院ニ於テモ、度々アリマシタ
ノデ、今日私ハ其御説明ヲ再ビ政府委員ヲ
煩ハシテ御聽キシヤウト云フ積リデハアリ
タシマシテ、ドウモ私ハ此點ノ疑ヒが解
ケナイノデアリマス、此點ハ私ハ更ニ自分
デモ考ヘテ見タイト思テ居リマスグ、ド
ウカ政府委員ニ於カセラレマシテモ、租稅
學理ノ上カラ云ヒ、又法文ノ解釋ノ上カラ
云ヒ、更ニ又實際上、事實上ニ於テ、此二
ツノ稅ガ重複課稅ニナラスト云フコトニ付
テ、無論研究ニ研究ヲ重ネラレタ結果デア
ルトハ存ジマスガ、更ニ御考慮ヲ願ヒタイ
ト存ズル次第アリマス、此事ハ政府委員
ニ對スルノミナラズ、此委員會ノ委員各位
ニ於カレマシテモ、一應御考ヘテ願ヒタイ
ト私ハ感ズル次第アリマス、ドウモ此二
ツノ稅ノ區分ハ、私ガ昨日一番冒頭ニ申シ
マシタ如クニ、ドウモ疑ヒガアルヤウナ氣
ガセラレテナラナインデアリマス、サウシ
テ斯ノ如ク人爲的デアルヤウナ氣持カセラ
レルノハ、或ル一部ノ論者ガ言フガ如ク、
單純ニ國債ノ免稅規定ト云フモノニ引掛ッ
テ來テ店ルノザヤナイクト云フヤウナ推測
モセラル、次第アリマシテ、若シサウ云
フヤウナコトデアリマスレバ、此國債ノ免
稅規定ト云フヤウナコトガ、租稅ノ體系ヲ
紊シテマデ、存ジテ置カナケレバナラヌヤ
ウナ大事十規定デアルカ、現今ノ經濟狀態
ニ顧ミテ大切ナモノデアルカ、昨日モ添
田、馬場兩博士カラ御質問モアリマシタ
クニ、平時ノミナラズ、非常時ノ場合ニ在、
テモ考ヘナケレバナラヌ、寧口此國債ノ免

税規定ノ如キハ、非常時ニ於テ考ヘベキコトデハナイデアラウカ、ソレヲ現今ノ状態ニ於テ保ツト云フコトノ爲ニ、此租稅ノ體系ヲ紊スト云フヤウナコトガ至當デアルデアラウカ、是ハマア推測デアリマスガ、サウデナイト云フコトヲ仰シヤレバソレ迄デアリマスガ、サウ云フヤウナ感ガアリマスカラ、茲ニ於テ幾多ノ考ヘベキ點ガ伏在シテ居ルヤウナ私ハ氣ガ致スノデアリマス、ドウゾ此點ハ、無論御考慮ニ御考慮ヲ重不ラレタ結果デアリマセウガ、モウ一應御考ヲ願ヒタイト希望スル次第デアリマス、此事ダケヲ昨日申上ダマシタコトニ附加ヘテ、一言希望トシテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

輕イトカノ問題ニナリマスレバ、國稅ダケ
デハ問題ノ解決ハ出來ナイノデアリマス、
殊ニ近時此地方稅ダ非常ニ増加イタシマシ
タ上カラモ、餘ホド地方稅ト云フコトニ付
テ、大藏大臣トシテノ御考ヲ願ハナケレバ、
是ハ只内務省獨リノ問題ニ委ネテ置カルベ
キ輕イ問題デハナイト私ハ深ク信ズルノデ
アリマス、幸ニ此度ビ稅制整理ニ於キマシ
テ、地方稅ノ整理ト云フコトニ御考ヲ及ボ
サレタト云フコトハ、大ニ多ト致シマス、
ケレドモデス、マダ非常ニ遺憾ナ點ガアル
ト思ヒマス、先日戴キマシタ此「道府縣雜
種稅一覽」ト云フ表ニ依テ御覽ニナリマシ
テモ、實ニ驚クベキ雜種稅ノ數デアリマス、
總數ハ百四種類ニナッテ居リマス、中ニハド
ウモ驚クモノガアル、サウ云フ細末ノ少額ノ
圓位ノモノガアル、サウ云フ細末ノ少額ノ
稅ヲ存スルト云フ必要ガドコニ在ルカ、中
ニハ笈ニ掛ケタ稅モアリマス、斯ノ如キモ
ノニマデ稅ヲ課セナケレバナラスト云フコ
トハ、地方稅トシテモ私ハ大ニ考ヘモノデ
アラウト思フノデアリマス、故ニ私ハ伺ヒ
タイノハ、成ベク戸數割デ地方稅ヲ整理セ
ラレルト云フ大方針ノ下ニ、今一層此地方
ノ雜種稅ト云フモノヲ思切ツテ統一サレ、
稅目ヲ減少サレテ、稅ノ色ニ多トイト云フコ
トハ、其負擔ヨリハ、其繁勞ト云フコトニ
非常ニ國民ニ惡感情ヲ與ヘルノデアリマス
カラ、是ハ稅ヲ納メル側カラ御考ヘ下サレ
バ明瞭デアリマス、又納稅ガ來タ、又納稅
ノ徵令書ガ來タト云フコトハ、金額以上ニ
好マシカラヌ結果ヲ主ズルガ故ニ、是ハ
内務省ハ勿論、大藏省ニ於テモ御考ヲ願ヒ
タイト思ブノデアリマスルガ、第一伺ヒタ

レテ、地方稅ノ整理ニ誤断ヲ御加へ下サル
コトガ出來ナイデアラウカト云フノガ第一
點デアリマス、第二點ハ地方ノ附加稅ニア
リマス、此附加稅ハ非常ニ濫用サレル、詰
リ地方ノ經濟ノ膨脹ト云フコトハ、多クハ
此附加稅ト云フコトノ濫用ニ胚胎イタシテ
居ルト云フ場合ガ多イト私ハ考ヘマス、成
ホド一應ノ制限ハ法律デ設ケラレテアリマ
ス、而シテ内務大藏兩大臣ノ認可ヲ受ケナ
ケレバナラスト云フコトニナッテ居リマス
ガ、是ガドウモ唯形式的ニ來ルダケデアリマ
シテ、多クハ、大概ノコトハ許サレルノ
デアリマス、故ニ課稅ノ制限ナドト云フ
コトハ事實殆ド何モナイト同ジヤウナコト
ニナッテ來ル場合ガアリマスガ爲ニ、一層此
附加稅ノ所謂監督ヲ嚴ニ爲サルト云フ御考ハ
アリマセヌカ、甚シキハ附加稅ノ認可ガ來
ルト、モット取レサウダト云フヤウナコト
デ追加稅ト云フヤウナモノガ頻繁ニ生ズル
ヤウニ私モ過去ノ經驗カラ感ジマスル、ド
ウソ此點ニ付キマシテハ、寧ロは内務省
ヨリハ大藏省ニ於テ大イニ御取締ヲ嚴ニセ
ラレタイト云フ希望ヲ有シテ居リマス、是
ハ地方ノコトデアルカラト云フノデナク、
是ハ稅源ニ關係イタシマス、國民ノ負擔ニ
關係イタシマス、延イテハ地方費ノ膨脹ニ
關係イタシマス、ソレガ國家ノ財政ニ甚ダ
憂フベキ影響ヲ及シマスガ故ニ、大藏大臣ニ
於テ今一層附加稅ノ監督ト云フコトニ付テ、
内務大臣ト共ニ嚴密ニスルト云フ策ヲ講ジ
テ頂クコトハ出來マスマイカト云フノガ第
二ノ點デアリマス、第三點ハ徵稅上ノ聯絡
ト云フコトデアリマス、一體稅ヲ本當ニ、
所謂納稅者ニ先づ割付ケルトカ申シマスル
實際ノ仕事ハ、市町村役場ガヤルノデアリ
マス、此市町村役場ト云フモノガソレデア
リマスカラ餘程此徵稅ノ上ニ於テ有力ナル

機關ニナツテ居ルト云フコトハ申迄モゴザ
イマセヌ、殊ニ附加税ト云フ問題ニナリマ
スレバ、其仕事ハ直チニ矢張リ市町村ノ利
害ニモ關係スルノデアリマス、ソコデ成ル
ベク私ノ希望ト致シマシテハ、此市町村稅
ノ如キモノト、此總テ國ノ稅並ニ府縣ノ稅
ト云フモノノ納期ヲ成ルベク同一ニサレタ
イノガ是ガ一ツノ希望デゴザイマスガ、ソレ
ハ或ハ又法律規則ノ改正ニナルカモ知レマ
セヌガ故ニ、先づ質問カラハ省イテ置キマ
スガ、唯私が御伺ヒシタインハ成ルベク此
市町村トノ聯絡ヲ徵稅事務上ニ於テ御取リ
下サルト云フコトヲ、今一層十分ニ爲サル
ト云フ御考ハゴザイマセヌカ、デ詰リ此稅
務ノ舉行ラヌ、納稅者ノ德義ガ守レル守
レヌ、滯納者ガ多イ少イト云フヤウナコト
ハ、市町村ノ活動如何ニ餘程關係スルト思
フノデアリマス、故ニ私ハ此點ニ付キマシ
テハ所謂市町村ニ多少ノ交付金ト云フモノ
ヲ、國庫ガ十分ニスルト云フ迄セヌデモ、
其方ガトクデハナイカト思フノデアリマス、
ソコデ此市町村利用ト云フコトニ付テ今一
層力ヲ御用ヒニナル御考ハゴザイマセヌカ
ト云フコトデアリマス、ソコデ御許シガ得
ラレマスルナラバ此前大藏大臣ニ納稅德義涵
養ノコトヲ御尋ネシマシタガ、其點ニ付キ
マシテ少シク補足イタシタイト思ヒマスガ、
委員長宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ
マス

○添田壽一君 デハ其一點ダケヲ申上げテ
置キタイノデアリマス、併セテ御伺ヲシタ
イノデアリマスガ、即チ法令若クハ期間ノ
整理ダケデハ到底納稅ノ德義ノ涵養ガ出來ナ
イト云フコトヲ申上ダマシタカラ繰返シマ
セヌガ、ソユデ大藏大臣ニ何カ御考ガゴザ
イマセヌカト云フコトヲ伺ツタノデアリマ

スガ、マダ御示シヲ得マセヌノデアリマス
ガ、試ミニ私ハ最モ大藏大臣ニ御考ヲ願ヒ
タイト思ヒマスコトヲ申上ダマスレバ、納
稅組合、納稅組合ト云フモノが全國ニ普及
サレマシテ、ソレガ自己ノ稅ハ勿論……市
町村稅ハ勿論、府縣國稅等ニ付キマシテ所
謂納稅ノ義務ヲ、其組合員ニ重ンゼシムル
ト云フ仕組ガ完全ニ付イテ參リマシタラ
バ、私ハ非常ニ是ハ有力ナル、有效ナル納
稅德義養方策ニナルダラウト思フノニア
リマス、此手段ヲ今少シク遍不ク御設ケニ
ナリマシテ、多少ソレニ獎勵ヲ御加ヘニナ
ル御考ハゴザイマセスカト云フコトデアリ
マス、モウ一ツハ稅務署ト前ニ申上ダマシ
タガ、府縣ト市町村トノ聯絡、之ヲモウ少
シク密ニ爲サレテ、此間ニ步調ヲ一シニス
ルノミナラズ、非常ニ親密ナル共同作用ト
云フモノガ行ハレルト云フコトモ一ツ御企
テ下サルコトハ出來マセヌカ、今デハ稅務
所府縣市町村等モ互ニ此共同ト云フコトガ
少シ缺ケテ居ルヤウニ思ヒマス、此聯絡ヲ
十分ニ付ケマスルト云フコトハ、非常ニ德
義涵養ト云フコトノ上カラ必要デアリマ
ス、大體稅務ノ成績ヲ上ダル上ニ於テ、又
納稅者ノ反感ヲ買ハナイデ效果ヲ全カラシ
ムルコトガ出來ヤセヌカト云フコトヲ思フ
カラデアリマス、ソレカラ殊ニ私ハ願ヒタ
イト思ヒマスノハ稅務當事者ト納稅人トノ
間ノ親密、マルデ今デハ敵同志デアル、ソ
レデアリマスカラ阪谷男爵ガ頻リニ御憂ヒ
ニナリマスル帳簿ノ検査、納稅人ノ訊問ト
云フヤウナコトニナリマシテカラト云フモ
ノハ、非常ニドウモ好マシカラヌ場面ヲ生
ズルノデアリマス、一方ニ納稅者ハマルデ
收稅官吏ハ鬼ノヤウニ見テ居リマス、又收
稅官吏ノ方デハ人民ト云ヘバモウ所謂偽リ
ヲ言フモノノヤウニ考ヘルト云フヤウナ場

合ガアルト致シマスレバ、兩方ノ間ニ圓滿ニ行カウ筈ガナイノデアリマス、是ハ非常ニ重大ナル問題デアル、是ガ爲ニ稅務ノ上ニ惡影響ヲ及ボスバカリデハアリマセヌ、尤モ智識ノアル者ハ別デアリマスガ、大概ノ國民ガ所謂國政ヲ呪フト云フヤウナコトスルガ故ニ、是ハ餘程所謂大體ノ上カラ御考ヲ下サレテ、今少シク納稅者ト此稅務當事者トノ間ヲ親密ニスルト云フコトデアリマスアリマセヌカ、ソレカラ次ハ納稅ノ智識ヲ普及スルト云フコトデアリマス、稅務ニ關スル智識ヲ普及スルト云フコトデアリマス、或ハ私ハオカシイコトヲ申上ダルヤウデアリマスケレドモ、活動寫眞ヲ御用ヒニナルコトハ非常ニ有效ノコトデアラウト思ヒマス、納稅德義ヲ守ラナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ雙方ノ利益デアルト云フコトハ一般國民ニ知ラシムルト云フモノガ後ニ控ヘテ居リマストドンナ講演デモ押スナ～ノ共地方ニ參リマシテヤリマシテモ、餘リ集まりマセヌガ、活動ト云フモノガ後ニ控ヘ思ヒマス、多少金ノ要ルコトト思ヒマスガ、脱稅者、滯納者ノ減ルト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、ソレ位ノコトハアッテモ宜イト思ヒマスカラ、サウ云フ方ニ納稅德義涵養ノ勞ヲ取ル御考ヘハアリマセヌカ、ソレカラ私ハ是ハ最後ニモウ打明ケテ露骨ニ申上ダマスガ、人民モ大イニ訓練シナケレバナリマセヌガ、稅務ニ當ル方モ御訓練ヲト徳義デゴザイマス、狹イ言葉デ申上ダマスクト所謂廉潔心、是ガ傷付キマスル際ニ於

ハ私ハ安心シテ可ナリト思ヒマスルケレドモ、尙ホ一層此點ニ付キマシテハ他ノ官吏ト違ヒマス、チヨット所謂査定ヲ寛クシテヤリマスレバ、數千數十萬圓ノ問題ニナルノデアリマス、其處ニ於テ實ニ所謂其誘惑ト云フ問題ガ他ノ官吏ヨリハ非常ニ強イノデアリマス、餘程是ハ稅務バカリデハアリマセヌ、國政ノ所謂汚レルコトヲ保ツ上カラモ大ニ大藏大臣ノ御留意ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、而シテ御伺ヲ致シタノハ、ドウシテモ矢張リ與フル物ハ十分デナケラネバ所謂德義ヲ保タシムルト云フコトガ困難デアリマスガ故ニ、私ハ多少他ノ經費ハ是ハ略シテモトハ申上ダマセヌガ、他ニ節約ヲナサレテモ、此稅務ニ當ル人ノ給與旅費ナドト云フモノハ成ベク十分ニセラレルト云フコトガ、矢張リ德義心ヲ涵養スル上ニ於テ、最モ有效ナル方法デハナイカト思ヒマスガ故ニ、今少シク大體ニ願ヒタイノハ稅務當事者ノ待遇ヲ今日以上ニ改善ナサルト云フコトハ出來マセヌカ、其御見聞ガゴザイマセヌカト云フコトヲ序デナガラ伺ヒタイノデアリマス

リマス、唯今ノ御話ヲ伺テ見マスト云フ
ト、第二種所得税ト資本利子税トハ何トシ
テモ重複課税ノヤウニ見エル、ソレデハ租
税ノ體系上如何デアラウカト云フノガ御疑
ヒノ要點デアツタヤウデアリマス、私ノ考
デハ一般所得税ヲ設ケマシテソレヲ中権ト
シテ、其一般所得税デ足リテイ所ノ缺點、
即チ資産重課ノ目的ヲ達シナイ其缺點ヲ補
完スルガ爲ニ、資産ニ向ツテ特別税ヲ起シ
マス、即チ補完税ヲ起シマスト云フコト
ハ、ソレハ形ハ違ヒマシテモ資産ニ對シマ
シテハ、二重課税ニナルト思ヒマス、或意
味ニ於テニ所を得税ニ於テ一遍資産所得タ
ルト勤勞所得タルトヲ問ハズ、總テ課税ヲ
サレテ居リマス、其上ニ更ニ補完税デ以テ
或種ノ資產ニ對シテ變タ形式ニ於テ補完
稅ヲ取ラレマスト、是ハ即チ實質上ニ於キ
マシチノ重複課税ト云ヒ得ルト思ヒマス、
併ナガラサウシナケレバ體系ヲ具備スルコ
トガ出來ナイ、資產重課ノ目的ヲ達スルコ
トガ出來ナイノデアリマスカラ、其方ガ是
ハ租稅ノ體系トシテ完全デアラウト思ヒマ
ス、唯第二種ノ所得ニ對シテハ補完税ヲ課
シマス時ニ、他ノ資本ニ對シテ補完税ヲ課
シマスルト同様ナ別ノ形式ヲ採ルコトガ、
實行上出來ナイノデアリマス、偶然ニ第二
種ノ所得ノ課税標準ト課稅物件ト、資產所
得ノ課稅標準ト課稅物件トガ偶同一ノモ
ナツテ居リマスノデ、聊カ不十分ト考ヘマ
スケレドモ、サレバト申シマシテ實質上ノ
實質上ニ於テ重複課税ニナツテ居リマスル
都合カラ云ヘバ當然デアルケレドモ、少ク
リカト申シマスト、今日ノ實際ノ狀況ニ於

テハソレガ出來ナイト思フノデアリマス、
止ムコトヲ得ズ御疑ノ起リマスヤウナ結果
ニナルノデアリマス、供ナガラサウ云フ理
由ヲ以テ然ラバ課稅標準モ課稅物件モ大體
ニ於テ同一デアルカラシテ、資本利子稅ト
云フ新稅ヲ起ス代リニ、第二種ノ所得稅ヲ
ソレダケ稅率ヲ増セバ可イデヤナイカト云
フ若シ疑問ガアリマシタナラバ、ソレニハ
政府ハ體系上御同意申スト云フ譯ニハ參ラ
ヌノデアリマス、縱令實行上ノ都合カラ致
シマシテ、形式ハ同ジャヤウニ見エテ居リマ
シテモ、矢張リ是ハ所得稅以外ニ於テ別種
ノ租稅トシテ新ニ設ケマスト云フコトガ、
租稅ノ體系ヲ整ヘル上ニ於テ適當デアラウ
ト考ヘマシタカラ、此度ノ提案ヲ致シタ次
點モ伺ヒマシタカラ、將來ニ至リマシテ政
府ニ於テモ篤ト考慮イタスコトハ致スコト
ニ致シタイト思ヒマス、是ハ能ク承^トテ置
キマシテ、將來ニ向^トテ研究ハ續ケルコト
ニ致シマス、ソレカラ添田博士ノ御質問デ
アリマス、地方稅ニ關スルコトデスガ、大
體ノコトヲ私カラ申上ダマシテ、尙ホ詳細
ニ至リマシテハ政府委員カラ説明ヲ致スコ
トニ致シマスルガ、第一ニ雜種稅ノ整理ニ
付キマシテハ、此度ノ地方稅ノ整理ニ於テ
相當ナル整理ヲ加ヘテアルト思^トテ居リマ
ス、其種目並ニ金額等ニ付キマシテハ政府
委員ヨリ詳細ニ申上ダマスルガ、現在ノ雜
種稅ノ中存置スベキモノ、或ハ雜種稅トシ
テ課シテ居ルコトハ相當ト認メナイ故ヲ以
テ府縣營業稅ニ移スヲ適當ト認メタルモ
ノ、其他存置モシナイ、營業稅ニモ移サナ
イ、餘リニ是ハ煩雜ナル名義デアルト云フ
理由ヲ以テ、此度ノ整理ニ於キマシテ廢止
スルノガ適當デアルト認メテ、廢止ヲスル

モデアリマス、現在ニ於キマシテモ御水知
ノ通り是ハ法律上デ組合ヲ設ケテ居リマス
ノハ織物組合デアリマス、此度ノ整理案ニ
於キマシテ酒造税ヲ引上ダマスル代リト云
フノデハアリマセヌガ、ソレニ伴ヒマシテ
酒造組合ニ向テ相當ノ交付金ヲ與ヘルト
云フ法案ヲ提出イタシテアリマス、又酒造
組合ハ法律上ノ組合デアリマスガ、法律ノ
關係ヲ離レマシテ、實際上ノ組合ハ全國三
於テ相當ニ出來テ居ルト思、テ居リマス、第
尚ホ十分ト申ス譯デハアリマセヌカラ將來
納稅組合ノ設立ト云フコトニ向テハ、相當
當ニ努力ヲ致シタイト思、テ居リマス、第
二點ハ納稅上ノコトニ付テ府縣市町村ト云
ノ共同ノ作用ト云フコトデアリマスガ、是
亦至極尤モナル御意見デアリマス、篤ト云
其ノ具體的ノ方法ニ付テ追々研究ヲ致シマ
シテ、實行ノ出來マスルモノハ實行スルヨ
トニ致シタイト思、テ居リマス、第三點ハ
稅務官吏ト納稅者トノ關係デアリマス、御
說ヲ伺テ居リマスト云フト如何ニモ稅務
官吏ト納稅者トノ關係ハ甚ダ宜シクナイ、
寧口反感ヲ有シテ互ニ相向ヒ合テ居ルト云
フヤウニ御述ベニナリマシタケレドモ、政
府ノ見マスル所デハ大體ニ於テ左様ニハ考
ヘテ居リマセヌノデ、自分ノ經歷ヲ申スコ
トハ、如何デアラウカト考ヘマスルケレド
モ、御承知ノ通り長ク大藏省ニ奉職ヲ致シ
テ居タ履歴モ有テ居リマス、又地方ノ稅
務ニモ數年間携テ居タ經歷モ有テ居リマ
スガ、其當時ノ稅務官吏ト納稅者トノ關係
ト、今日大藏省ニ這入リマシテ私ガ觀察
ヲ致シマシタ所ノ稅務官吏ト納稅者トノ關係
係ト云フモノヲ比較シテ見マスルト云フ
ト、餘程趣ヲ異ニシテ居ルヤウニ考ヘマ
ス、其關係ニ於テハ私ノ過去ニ經驗ヲ致シ
テ居タ其當時カラ見マスト云フト、大分

改善ヲ加ヘラレテ巨ル思テ居リマス、即チ大藏當局ノ努力ニ依リマシテ、稅務官吏ノ常識ガ大分發達ヲ致シ、又常識ノミデハルト云フヤリ方ガ餘程宜クナツテ參ツテ居ルト云フコトヲ大體ニ於テ考ヘテ居ル、固ヨリ大體ノ御詰デアリマシテ、全國ノ稅務官吏ノ多數ナル者悉クサウ云フ譯ニハ參リマセヌ、中ニハ宜シクナイト思フ點モアリマスガ、併シ過去ノコトヲ考ヘテ見マスト云フト、餘程改善ヲ加ヘラレテ居ルト思ヒマス、尙ホ其方針ヲ以テ將來ニ向テモ十分享ニ其關係ヲ、出來得ルダケ改善ヲ致シタイント云フ希望ヲ有ツテ居リマス、殊ニサウ云フ點ニ付キマシテ稅務官吏ヲ教育ヲ致シ、又品性ヲ陶冶スル、常識ヲ養フト云フ目的ヲ以テ、大藏省ニ於テハ講習會ヲ時々催シテ居リマス、是ハ或ハ間稅ノ主任ノ者ヲ中央ニ寄ビ集メテ數箇月ニ亘テ講習ヲ致シ、或ハ直稅ノ主任ノモノヲ召集ヲ致シテ數箇月ニ亘テ講習ヲ致シテ居リマスガ、其成績ハ頗ル宜シイヤウニ考ヘル、サウ云フコトガ追迄ニ年ヲ經マスト云フト、御心配ニナツテ居リマス、稅務官吏ト納稅者トノ關係ハ次第ニ改善ヲサレルニ至ルデアラウト竊ニ期待ヲ致シテ居リマス、又特ニ間接稅ノ關係ニ付テ兩者ノ關係ガ圓満ニナリマシタ其重大ナル理由ガ一ツアラウト思フノデアリマスガ、其理由ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマスルガ、御承知ノ通り醸造試驗所ト云フモノガ酒ノ腐敗ヲ防グ、或ハ酒造ノ革正ヲ圖ルト云フヤウナコトヲ講習ヲ致シテ居リマスガ、其講習ノ講師ニ當ル者ハ大藏省ノ技師、若クハ大藏省ノ行政官デアリマス、此國カラ講習生ヲ募リマシテ、酒造ニ關スル或ハ醬油ニ關スル所ノ醸造上ノ技術、或ハ酒ノ腐敗ヲ防グ、或ハ酒造ノ革正ヲ圖ルト

講習ヲ受ケマシタ所ノ者ガ地方ニ歸リマシテ、自分ノ父兄ノ業ヲ助ケテ酒造業者ノ子弟モナカヽ多イノデアリマス、サウ云フ所デ講テ致シ、或ハ稅務署ニ歸リマシテ、酒造ノ取締ヲ監督ヲ致スト云フコトニナリマスト云フト、此官吏ト當業者トノ間ノ關係が非常ニ親密ニナル、又醸造試驗所ノ働か大變ニ大體ニ於テ良好デアリマシテ、酒造業ノ發達改良ト云フコトニ向シテ専ナカラザル貢献ヲ致シテ居ルモノト存ジマス、サウ云フ點カラ致シマシテ、全國ノ酒造業ハ大藏省ノ醸造試驗所ノ努力ニ向シテ大分感謝ヲ致シテ居ルト云フコトヲ私ハ承知ヲ致シマス、總テノ點ニ向シテサウ云フコトヲ實行イタシマシテ兩者ノ關係ヲ出來得ルダケ圓滿ニスルヤウニシテ行キタイト云フコトヲ考へテ居リマス、其次ハ第四點デアリマスガ、納稅知識ノ普及ニ付テドウ云フコトヲシテ居ルカト云フ御詰ケアリマシタガ、是ハ一昨日ト思ヒマス、ドナタカノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シテ置キマシタ通り、或ハ地方ニ於テ講習會ヲ催シマストカ、講演ヲ開キマストカ、或ハ納稅上ニ關スル所ノ「パンフレット」ヲ配リマストカ「ポスター」ヲ配ルト云フヤウニ、出來ルダケノコトハ訓練、殊ニ廉潔心ヲ養成スルト云フコトニ行テ居リマス、尙ホ將來ニ向シテ實行シ得ベキ案ガアリマシタナラバ、猶豫ナク實行スル積リデアリマス、第五點ハ稅務官吏ノ訓練、殊ニ廉潔心ヲ養成スルト云フコトニテ非常ニ心配ヲ致シマシテ、監督ヲ致シテ居ルヤウナ次第アリマス、固ヨリ官吏服務規律ニ依ル所ノ表面ノ監督ノミデハ是ハ對スル施設デアリマス、是ハ稅務行政ノ執行上ニ於テ極メテ重大ナル問題デアリマス、大藏當局ト致シマシテモ常ニ此點ニ付

足リマセヌカラ、其稅務官吏ノ廉潔心徳義心即チ節義ヲ陶冶シ養成スルト云コトハ最モ重大デアルノデアリマス、先刻申シマシタ所ノ稅務官吏ノ講習會ニ於キマシテモ、其點ニ最モ重キヲ置イテ講習ヲ致シテ居ル次第デアリマス、其官吏ノ節義ヲ養成シ品性ヲ陶冶スルガ、此稅務官吏ノ待遇ノ改善遇改善ト云フコトハ最モ有力ナル所ノ事柄ニアリマスルガ、是マデ漸次其待遇ガ改善ニ付キマシテハ、是マデ漸次其待遇ガ改善ヲセラレテ居リマシテ、今日ニ於テハ判任官ノ平均俸給ノ如キモ、他ノ官廳ノ判任官ノ平均俸給ト大差ナナイ、違イハナイ、寧ロ或點ニ付テハ稅務官吏ノ待遇ノ方が却テ他ノ官廳ノ官吏ヨリ宜クナッテ居ルト云フ點モアルヤウニ考ヘマス、要スルニ此待遇改善ノ問題ハ、單リ稅務官吏ニハ止マリマセヌガ、財源ヲ要スル次第アリマスカラ、國家ノ財政上ノ關係ヲ考慮イタシマシテ、徐々ニ之ヲ向上セシメテ行クト云フ外ニ取ルベキ途ハナイノデアリマス、尙ホ總テノ點ニ對スル添田君ノ御質問ハ能ク承テ置キマシテ、將來出來ルダケノ努力ヲシリト存ジマス、大體御答ヲ申上ダマシタ、地方稅ニ關スル點ニ付テ、尙ホ私ノ足シマス所ハ政府委員カラ御答ヘ致スコトニ致シマス

○政府委員(田中廣太郎君) 第一ハ雜種稅ニ關スル御尋デアリマシタガ、雜種稅ハ府縣ノ財政ノ必要ニ應ジマシテ、今日ニ於キマシテハ非常ニ多種多様ニナリマシテ、中ニハ頗ル如何ハシイト思ハレルモノ迄、課稅スルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、從ヒマシテ此度地方稅ノ整理ニ當リマシテモ、雜種稅ノ整理ニ付キマシテハ、頗ル意ヲ用ヒマシテ、十分整理ヲ遂ゲルコトニ致シタ次第アリマス、其雜種稅ノ整理ノ大要ヲ申上ダマスルト、雜種稅ノ中ニ於キマシテモ、其點ニ最モ重キヲ置イテ講習ヲ致シテ居ル次第デアリマス、其官吏ノ節義ヲ養成シ品性ヲ陶冶スル上ニ於テ、御說ノ通り待遇改善ト云フコトハ最モ有力ナル所ノ事柄ニアリマスルガ、此稅務官吏ノ待遇ノ改善ニ付キマシテハ、是マデ漸次其待遇ガ改善ヲセラレテ居リマシテ、今日ニ於テハ判任官ノ平均俸給ト大差ナナイ、違イハナイ、寧ロ或點ニ付テハ稅務官吏ノ待遇ノ方が却テ他ノ官廳ノ官吏ヨリ宜クナッテ居ルト云フ點モアルヤウニ考ヘマス、要スルニ此待遇改善ノ問題ハ、單リ稅務官吏ニハ止マリマセヌガ、財源ヲ要スル次第アリマスカラ、國家ノ財政上ノ關係ヲ考慮イタシマシテ、徐々ニ之ヲ向上セシメテ行クト云フ外ニ取ルベキ途ハナイノデアリマス、尙ホ總テノ點ニ對スル添田君ノ御質問ハ能ク承テ置キマシテ、將來出來ルダケノ努力ヲシリト存ジマス、大體御答ヲ申上ダマシタ、地方稅ニ關スル點ニ付テ、尙ホ私ノ足シマス所ハ政府委員カラ御答ヘ致スコトニ致シマス

○政府委員(田中廣太郎君) 第二ハ雜種稅ニ關スル御尋デアリマシタガ、雜種稅ハ府縣ノ財政ノ必要ニ應ジマシテ、今日ニ於キマシテハ非常ニ多種多様ニナリマシテ、中ニハ頗ル如何ハシイト思ハレルモノ迄、課稅スルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、從ヒマシテ此度地方稅ノ整理ニ當リマシテモ、雜種稅ノ整理ニ付キマシテハ、頗ル意ヲ用ヒマシテ、十分整理ヲ遂ゲルコトニ致シタ次第アリマス、其雜種稅ノ整理ノ大要ヲ申上ダマスルト、雜種稅ノ中ニ於キマシテモ、其點ニ最モ重キヲ置イテ講習ヲ致シテ居ル次第デアリマス、其官吏ノ節義ヲ養成シ品性ヲ陶冶スル上ニ於テ、御說ノ通り待遇改善ト云フコトハ最モ有力ナル所ノ事柄ニアリマスルガ、此稅務官吏ノ待遇ノ改善ニ付キマシテハ、是マデ漸次其待遇ガ改善ヲセラレテ居リマシテ、今日ニ於テハ判任官ノ平均俸給ト大差ナナイ、違イハナイ、寧ロ或點ニ付テハ稅務官吏ノ待遇ノ方が却テ他ノ官廳ノ官吏ヨリ宜クナッテ居ルト云フ點モアルヤウニ考ヘマス、要スルニ此待遇改善ノ問題ハ、單リ稅務官吏ニハ止マリマセヌガ、財源ヲ要スル次第アリマスカラ、國家ノ財政上ノ關係ヲ考慮イタシマシテ、徐々ニ之ヲ向上セシメテ行クト云フ外ニ取ルベキ途ハナイノデアリマス、尙ホ總テノ點ニ對スル添田君ノ御質問ハ能ク承テ置キマシテ、將來出來ルダケノ努力ヲシリト存ジマス、大體御答ヲ申上ダマシタ、地方稅ニ關スル點ニ付テ、尙ホ私ノ足シマス所ハ政府委員カラ御答ヘ致スコトニ致シマス

○政府委員(田中廣太郎君) 第二ハ雜種稅ニ關スル御尋デアリマシタガ、雜種稅ハ府縣ノ財政ノ必要ニ應ジマシテ、今日ニ於キマシテハ非常ニ多種多様ニナリマシテ、中ニハ頗ル如何ハシイト思ハレルモノ迄、課稅スルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、從ヒマシテ此度地方稅ノ整理ニ當リマシテモ、雜種稅ノ整理ニ付キマシテハ、頗ル意ヲ用ヒマシテ、十分整理ヲ遂ゲルコトニ致シタ次第アリマス、其雜種稅ノ整理ノ大要ヲ申上ダマスルト、雜種稅ノ中ニ於キマシテモ、其點ニ最モ重キヲ置イテ講習ヲ致シテ居ル次第デアリマス、其官吏ノ節義ヲ養成シ品性ヲ陶冶スル上ニ於テ、御說ノ通り待遇改善ト云フコトハ最モ有力ナル所ノ事柄ニアリマスルガ、此稅務官吏ノ待遇ノ改善ニ付キマシテハ、是マデ漸次其待遇ガ改善ヲセラレテ居リマシテ、今日ニ於テハ判任官ノ平均俸給ト大差ナナイ、違イハナイ、寧ロ或點ニ付テハ稅務官吏ノ待遇ノ方が却テ他ノ官廳ノ官吏ヨリ宜クナッテ居ルト云フ點モアルヤウニ考ヘマス、要スルニ此待遇改善ノ問題ハ、單リ稅務官吏ニハ止マリマセヌガ、財源ヲ要スル次第アリマスカラ、國家ノ財政上ノ關係ヲ考慮イタシマシテ、徐々ニ之ヲ向上セシメテ行クト云フ外ニ取ルベキ途ハナイノデアリマス、尙ホ總テノ點ニ對スル添田君ノ御質問ハ能ク承テ置キマシテ、將來出來ルダケノ努力ヲシリト存ジマス、大體御答ヲ申上ダマシタ、地方稅ニ關スル點ニ付テ、尙ホ私ノ足シマス所ハ政府委員カラ御答ヘ致スコトニ致シマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 御答イタシマスガ、先年臨時財政經濟調查委員會ヲ設ケラレマシテ、藤山君モ委員トシテ御盡力ニナリマシタ、私モ委員トシテ出テ居リマシタガ、御承知ノ通り、アノ當時、其調查會デ小

案、第三案トツアッタノデアリマス、第一案ハ地租營業稅ヲ地方ニ移讓スルト云フコト、其代リ其財源ノ缺陷ヲ補填ヲ致シ且ツ所得稅ノ補充稅トシテ一般財產稅ヲ設クリト云フ點デアル、第二案ハ、一般財產稅ヲ設ケナイ、即チ特別所得稅主義ニ一般所得稅ヲ中心トシテ、ソレニ三種ノ特別所得稅ヲ設ケテ、一般所得稅ヲ補充セシム、即チ不動產所得稅、資本利子稅、營業所得稅、此三ツデアッタノデアリマス、是ガ第二案、ソレカラ第三案ハ、大體ニ於テ現行法ノ組織ニシテ、其內容ニ向テ相當ノ改善ヲ加ヘル、斯ウ云フ案デアッタラウト思ヒマス、殊ニ地租、營業稅ニ於テ相當ノ財源ヲ求メルト云フコトデアッタノデアリマス、ソコレ第三案ハ地租賃貸價格ニ依ル營業稅、營業純益稅ト云フモノハナカッタノデアリマス、是ハ課稅標準ヲ幾ラカ改廢イタシマス主ニ賃貸價格ヲ課稅標準カラ取去テシモケレドモ、其大體ノ組織ハ外形標準ニ依リマシテヤルト云フコトニナッテ居リマス、ノデアリマス、特別委員會ニ於テハ第一案ノデアリマス、家屋稅ガアッタヤウニ思ヒマシタガ、能ク記憶イタシマセヌ、大體此三ツノ案デアッタノデアリマス、特別委員會ニ於テハ第一案ガ多數ヲ占メテ、即チ財產稅ト云フモノガ多數ヲ占メテ、即チ財產稅ト云フコトヲ立テラズ、特別委員會ガ参考トシテ是非斯ウ云フ案ガ出來マシタカラ、政府ニ於テ能ク研究考慮ノ上ニ適當ナル實行的ノ案ヲ立テラムコトヲ望ム、斯ウ云フ決議ヲシテ報告ヲシタノデアッタノデアリマス、ソコデ此度ノ稅制ノ整理ヲ行ヒマスルニ當ラテ、政府マシタ、所ガ第一案ニ依リマスト、地租營

業税ヲ譲ルト云フコトハ其主義ノ如何ニ拘
ハラズ、財源ノ關係カラ中々困難デアル、
其財源ヲ補填スル一般財產稅ヲ設ケルコト
ガ出來マスレバ財源が出來マス、又體系モ
略、整フト思ヒマスガ、今日ノ狀態ニ於テ
一般財產稅ヲ設ケテ是ニ依ツテ地租、營業稅
ノ委讓カラ生ズル一億三四千方圓ノ大規模
ノ財源ヲ得ルト云フコトハムヅカシイト云
フノデ遂ニ第一案ヲ放棄イタシマシタ、ソ
コデ第二第三案ノ利害得失ニ付テ研究イタ
シマシタ結果、此度出來マシタ稅制整理ニ
依ル所ノ體系ノ案ハ、第二案第三案トノ稍
混淆ト申シマスカ、或ハ折衷ト申シマス
カ、サウ云フヤウナ形ニナツクノデアリマ
ス、即チ一般所得稅ヲ中樞トスルコトハ一
案モ二案モ三案モ變リハナカツクノデアリ
マス、ソレヲ補完スル所ノ地租、是ハ二案
ニ依リマスレバ家屋ノ所得ト同様ナ動産所
得デアツクノデアリマスガ、第三案ニ依リマ
スト地租ハ貨貸價格ニ依ルト云フコトデ
アリマスカラ、地租ヲ貨貸價格ニ依ルト云
フ主義ヲ採タコトハ、即チ第三案ヲ採タ
コトニナツテ居リマス、ソレカラ營業稅ハ
第三案ニ依リマスレバ、外形標準ノ課稅デ
アツテ、其課稅標準ヲ幾ラカ改善スルコト
案ハ唯特別听得稅ニ近イ純益課稅ニナツ
タノデアリマスカラ其點ニ付テハ第二案ガ
採用サレタコトニナツテ居リマス、ソレデ
ト云フ形ニナツテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ大體租稅ノ體系ハ整ヘタモノデアルト
考ヘマシテ、二案ト三案トノ中間ヲ行タ
コトニナツテ居リマス、此度ノ政府ノ整理
ノ課スルト云フコトハ、是コソ體系ガ二重

ニナル、ソコデ今日ノ税制整理案ヲ立てシタ其主義ト致シマシテハ、財産税案ハ採用シタヌ積リデ、第二案ト第三案ノ長所ヲ採用テ短所ヲ捨テマシテ、是デ一先ツ體系ヲ整ヘタト云フコトニ考ヘテ居リマス、財産税ハ採用シナイト云フ主義ヲ採用ナノデアリマス

スガ、一遍ニ多額ノ負擔ヲ受ケマスルト、其爲ニ非常ニサウ云フ精神ヲ喪失スルヤウナ憂ヘモ生ジテ來ハシナイカト考ヘマスルガ、此度ノ相續稅ニ付テモ、ドウ云フノカ吾々ハ知リマセヌガ、チヨット倍ニナッテ居リマス、此位ナ相續ハ働イテナイ人ガ只貰ト云フダケデアリマスカラ差支モナイ、又知ラヌ顔ヲシテ負擔シテモ差支ナイト云フコトモ一面ノ理由モアリマセウケレドモ、日本ノ家族制度、或ハ日本ノ今日迄ノ父兄ノ考ハ、何トカシテ子孫ノ爲ニツ計ヲシヤウト云フヤウナコトガ若シアリトシマスル勵ヲシタ財產ガ一朝ニシテ子供ニ移ル時分ハ半分ニナッテ了フ、或ハ三分ノ一二モナルト云フヤウナコトガ若シアリトシマスルト非常ニ此點ニ於テハ考慮スベキ問題デハナイカト私自身ハ考ヘテ居ル、サウ云フ點ニ付テモ此コトハ相當ノ變更ハナイノデスカ、大體ノ政府ノ御考ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

ノ負擔ハ相續稅創設ノ場合ヨリ輕クナッテ居ルト考ヘマス、ノミナラズ四万圓以下ノ相續財產ニ付テハ現行稅率ヲ少シモ變ヘテアリマセヌ、施行當時ノ稅率カラ見マスレバ餘程低クナッテ居リマス、ソレカラ免稅點ヲ引上ダタト云フ點モアリマスシ、旁、負擔ガ大分仕易イヤウニナッテ居リマス、此藤山君ノ御質問ハ相續稅ノ當面ノ問題デハアリマセヌノデ、大體主義上ノ問題デアリマスカラ、其主義ニ付キマシテハ、先刻申上ダマシタ通り、此上ニ財產稅ヲ課スルト云フコトハ致サナイ積リデアリマス、又此度ノ稅制整理ニ付キマシテモ、色ニ社會政策、問題ヲ加味シテ減免稅ヲ致シマシテ、千方百圓ノ歲入ノ減少ヲ見マシタ、ソレヲ補填シマスル爲ニ、其資產ニ重課シタト認メラレル點ハ、僅ニ今御舉ダニナリマシタ相續稅ノ稅率ガ高マタト云フコトニ依テ千四百万圓ノ增收ダ生ジタト云フコトト、ソレカラ第二ニ資本利子稅ヲ創設シテ、相續稅ハ間違ヒマシタ、五六百万圓ノ增收デアリマス、資本利子稅ハ千四百萬圓ノ增收ニナップテ居リマス、其他ノ歲入缺陷補填ノ爲ニ行ヒマシタ新增稅ハ、主トシテ酒煙草ノ增稅ニ依ルト云フコトニナッテ居リマシテ、財產ニ對スル所ノ負擔ガ、非常ニ増加シタトハ考ヘテ居リマセヌ、將來ニ向テモ其點ニ付テハ篤ト考慮イタスコトニ致シマス○井上準之助君 私ハチヨット此所得稅ノ削除ニナル九條ノ事ヲ御尋シマスガ、其第二項ガ削除サレマシタニ付テ、大分苦痛ヲ感行ツタモノガ非常ニ多イノデアリマス、此二ノデアリマスカ、何カ是ハ此項ヲ改正スル

トカ、ナントカ云ノデナシニ、大藏省ハソレニ付テ多少震災地ト云フコトヲ、手加減ノ上デ考ヘラレテ居ルコトガアルノデアリマスカ
○政府委員(黒田英雄君) 御尋ハ大體填補免稅ノ制度ヲ廢シマシタ結果、實ハ震災地方ニ於キマシテ、震災ノ爲ニ損耗ヲ致シタ者ニ對シテ、何カ特殊ノ手加減ヲスルカト云フ點ニ付テノ御尋ノヤウニ承ッタノデアリマスカ、ソレニ付キマシテハ別ニ手加減ヲスルト云フ考ヘヲ有ツテ居ラナイノデアリマス、ソレヲ申上ダマスノニハ、此廢シマシタ理由カラ申上ダマセヌト云フト明ラカニナラナイト考ヘルノデアリマシテ、多少其點ヲ申上ダタイト思フノデアリマスガ、此填補免稅ハ現今其制度ヲ認メテ居リマスノハ申上ダマスマデモナク、御承知ノコトデアリマスガ、現在ニ於キマシテハ、法人ガ配當シマセヌノデ、積立ニ留保イタシマシタ其時ニ於テ、百分ノ五ヲ最低ト致シテ累進稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、其積立ヲ致シタモノヲ、更ニ今度崩シマシテ配當ヲシマス時ニ、更ニ配當所得ト致シマシテ百分ノ五ヲ課稅スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、一遍積立テ、更ニソレヲ崩シテ配當スル時ニ、再ビ課稅ヲスルノデアリマスカラ、崩シマシタ後ヲ補填スル時ニハ之ヲ免稅シテ置イテ、サウシテソレヲ崩シテ配當スル時ニ百分ノ五ト云フ課稅ヲスルト云フコトニナッテ、填補ヲ致シタモノニ對シテハ免稅ヲ致スコトニナッテ居ルノデアリマス、處ガ今度ハ配當課稅ト云フモノヲ廢メマシテ、留保イタシタモノモ、配當イタシマシタモノモ、總テ法人ノ普通所得ト致シマシテ、百分ノ五ト云フモノヲ課稅スルコトニナッタノデアリマスカラ、積立ツテ居リマスモノヲ崩シテ配當イ

タシタコトニナッテモ、今度ハ何等課税ヲ致
サナイト云フコトニハナルノデアリマス、
ソレ故ニ崩シマシタモノノ跡ヲ補填ヲ致シ
此填補免稅ト云フ規定ガ當然必要ガナイト
云フ見方カラ致シマシテ、之ヲ除イタノデ
アリマス、處ガ過去ニ然ラバ積立金ヲ崩シ
タモノニ付テ如何ニスルカト云フコトニ付
キマシテモ、御尋ノ通り攻究ヲ致シタノデ
アリマス、過去ニ積立シマシタモノノ崩
シタモノニ付キマシテ、ソレヲ配當イタシ
テ居ルモノニ付キマシテハ、成程配當所得
トシテ更ニ課稅ヲ受ケテ居ツタノデアリマ
スガ、缺損ヲ補填シタモノニ付キマシテハ、最
何等課稅ヲ受ケテ居ラヌノデアリマス、最
初ノ百分ノ五ノ課稅ダケデ、次ノ第二ノ課
稅ヲ受ケテ居ラヌノデアリマスカラ、其者
ニ對シマシテハ、將來ニ於キマシテモ、其
填補免稅ヲ致ス必要ハ當然ナイヤウニ考ヘ
ルノデアリマス、唯多少此配當ヲ致シテ居
ルモノニ對シテハドウカト云フコトニ付テ
ノ疑問ハアルノデアリマスケレドモ、是モ
其間ニ區別ヲ致シマスコトモ、非常ニ困難
デアリマスルシ、又此積立金ニ對シマシ
テ、填補免稅ヲ認メマスト云フト、將來此
利益ガアリマシタ場合ニ於テ、一遍之ヲ積
立金トシテサウシテ後ニ之ヲ配當スルト云
フコトニナリマスト云フト、法人ノ所得ニ
對シテ結局課稅ガ出來ナイト云フ結果ニ
ナッテ來ルノデアリマス、震災地ニ於キマシ
テモ、震災地ノ會社ニ於キマシテ缺損ヲ致
シタモノガ、其積立金ヲ以テ補填イシマシ
テ、若シ其補填シタ年度マデ之ヲ認メル
ト云フノデアリマスト、唯今後法人ノ利益
ヲ一旦積立金ト致シマシテ、サウシテ其後
ソレヲ崩シテ配當スルト云フコトニナルト

云フト、課稅スルコトガ出來ナイ、普通ノ所得ノ課稅…法人ニ對シマスル課稅ト云フモノハ出來ナイト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、其點カラ見マシテモ、之ヲ將來メルト云フコトハ非常ニ弊ヲ生ジマスルシ、又實行上ニ於キマシテ、先程申シマシタヤウニ區別スルコトガ困難デアル上カラ致シマシテ、又理論ノ上カラ云ヒマシテモ、今後ハ配當シマスモノニ對シマシテハ過去ニ積立テ居リマスモノニ對シマシテモ、今後ハ課稅ト云フモノヲ致サナイト云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、理論カラ申シマシテモ、填補免稅ヲスル必要カナイト云フ上カラ致シマシテ、全然之ヲ削除シタノデアリマス、隨テ震災地ノ會社ニ對シマシテ特別ノ取扱ヲ致スコトガ、法人ニ於キマシテハ、法規ノ上ニ特ニ此斟酌ヲスルト云フコトハ困難デアリマシテ、計算ノ上ニ當然現ハレテ參ルノデアリマスカラ、其點ニ付キマシテハ、何等特別ナ取扱ヒヲ致スト云フ考へハ有ツテ居リマセヌノデアリマス○馬場鍊一君 私モ一二點尙ホ伺ッテ見タイノデス、今回ノ稅制整理案ニ依リマシテ、負擔ノ均衡ヲ圖ル上カラ、色ニ改正ニナルルノデアリマスガ、私ハマダ十分ニ考究ヲ遂ダテ居リマセヌ點モアリマスルガ、全體ニ瓦リマシテ負擔ノ激増ヲ來スト云フヤウナモノハ餘りナカト思フノデアリマスルガ、唯ダ營業収益稅ナドニ付テハ、課稅標準ガ外形標準デアリマシタノヲ、今回純益課稅ニナリマシタ關係上、稍ニ負擔ノ激變ヲ來スモノガアリハシナイカト云フ疑ヲ有ツテ居ルノデアリマスガ、他ノ稅ニ付テハ大體ニ於テ左様ナコトハナカラウト思ヒマスガ、其點ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマス、此負擔ノ激増ト云フコトハ、縱令負擔ノ均衡ヲ得ル必要ガアリマシテモ、少ク

モ施行當初ニ於テ多少ノ此緩和策ヲ講ズルト云フコトガ、從來ノ稅法ニモアッタヤウニ思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テノ何カ然ルベキ措置ガ講ジテアルモノニアリマセウカ、此點ハ例ヘバ此當業者ヨリ大藏省アタリヘ申出デ、居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、信託業ナドノ關係ニ於テモ、當業者ノ言フ所ニ依リマスルト可ナリ負擔ノ激變ヲ來タスヤウニ思フノデアリマス、固ヨリ是ハ從來ノ課稅標準並ニ從來ノ課稅ノ稅率ガ是ガ今回ト先づ違フノデアリマスガ、致シ方モナイコトデアルカ知レマセヌ、又或ハ從來輕キニ失シテ居タルカ知レマセヌ、別ニ差支モナイト云フ論モ出マセウガ、他方カラ考ヘマスルト、矢張り當業者ノ言フガ如ク或ハ可ナリ負擔ノ激變デハナイカラ、別ニ差支モナイト云フ論モ段々斯様ナ例ト思フノデアリマス固ヨリ是ダケデアル、是ガ殆ド唯一ノ例外デアルト云フコトデアリマスレバ、又忍ズベキモノデアルカ知レマセヌガ、他ノ業體ニ付テモ段々斯様ナ例ト思フノデアリマス、其點ヲ御伺ヒシタイ、次ニハ此租稅ノ徵收費ト申シマスカ、今回ノ稅制整理殊ニ地租ハ地租條例ノ改正ニ依リマシテ、等シク市町村ノ名寄帳ノ整理ニ對シテ補助費デアルト伺ツタノデアリマスガ、二十一餘万圓デアリマスカ、豫算ニ計上セラレテ居ルヤウニ、私ハマダ十分調ヘハシマセヌガ、左様ナコトヲ同ツタノデアリマスガ、サウシテ大正十八年マデ平年ト見タ時ニ於テ租稅ノ徵收費ガ百六十九万圓バカリガ全體ニ於テ減ズル勘定ニナルナラバ、是ハ誠ニ結構ナコトデアリマス、唯今回此衆議院ノ修正ニ依リマシテ同一市町村内ニ限ラズ、隣接市町村ト云フコトニ擴張セラレタ而シ

テ自作農ト云フコトニナリマシタノデ、其點カラ名寄帳ノ整理ハ可ナリ町村ニ於テテ大分負擔ヲスルモノガアルヂヤナイカズ、斯ト云フコトヲ憂フルノデアリマス、是等ノ點ニ付テドウ云フ御計畫ニナリマシタモノアリマスカ、其點モ伺ヒタインデアリマス、先ツ其一點ノ御説明ヲ願ヒマス
○政府委員(黒田英雄君) 御尋ノ通り營業収益稅ニ改メマスル結果ト致シテ、或ル種類ノモノニ付テハ又或ル會社等ニ付テ相當負擔ノ加ハルモノモアラウカト考居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、何カ緩和ノ手段ヲ講ジテ居ルカト云フ御デゴザイマスルガ、是ニ對シマシテハ特ニ緩和ノ手段ト云フモノハ講ジテ居リマセラノデアリマス、ソレハ唯今例ニ御舉ダニナリマシタ信託會社等ニ付テハ相當負擔ノエルモノモアリ、又減ズルモノモアルニゴニアリマスガ、中ニハ殖エルモノモアルトニノフノハ、信託會社等ヨリ私共ノ所ニモ陳述ニ參ツタノデアリマス、併ナガラ是ハ現在ニ信託會社ガ、マダ施行後日モ經タナインデアリマスカラ、信託業法ニ依リマスルト、純粹ノ信託業ト云フ外ニ色ニナ、從來ノ改革上業務ヲ營ンデ居ルモノモアリマス、又固有ノ資産ヲ以テ色々ナル仕事ヲ營ンデ居ルト云フモノモ隨分アルノデアリマシテ、唯現在ノ課稅ガ御承知ノ通り報償金額ニ於テ致シテ居ル點ハ、銀行等ト比較イタシテ、云フ風ノモノガ、比較的輕イ負擔ヲ現在ニナッテ居リマスル結果トシマシテ、固有ノ資産等ノ運用ニ依シテ相當利益ヲ得テ居ルヲシナイカト思ヒマスル、加之一層市町村ニ於テテ大分負擔ヲスルモノガアルヂヤナイカズ、斯ト云フコトヲ憂フルノデアリマス、是等ノ點ニ付テドウ云フ御計畫ニナリマシタモノアリマスカ、其點モ伺ヒタインデアリマス、先ツ其一點ノ御説明ヲ願ヒマス
○政府委員(黒田英雄君) 御尋ノ通り營業

モノデアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居タルノデアリマスガ、サウ云フ結果ト致シマシテ、今回収益税ニナリマス爲ニ、相當業體ノ如何ニ依リマシテ違ツテ參ルモノガ出來ヤウト思ヒマス、若シ純粹ノ信託業トシテノ信託事務ヲ主トシテ致シテ居ルモノニ付キシテハ、殆ド報償金額ト今回ノ純益ト云フモノハ大差ノナイ、寧ロ純益ニナリマスル結果ト致シマシテ、却ラテ輕クナルト云フ風ニナルノガ當リ前テアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シは大體ノ観察デアリマス、實際ニ於キマシテ殖工モノモアルヤウニ考ヘマス、併ナガラ是ハ將來緩和シテ參ルコトモアリマセウシ、又今回ノ課税ガ純益其モノヲ標準ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、負擔能力ノ上カラ言ヒマシテモ、必ズ無理ガ出來ルモノデモナカラウ、税率ガ純益ニ對シマシテ適當ニ税率ヲ盛テ居リマスル以上、前ノト比較イタシマシテ多少ノ變動ガアリマシテモ、其負擔能力カラ申シマスレバ、決シテ無理ナ負擔ヲ命ズルモノハナカラウト云フ考カラ致シマシテ、別ニ之ニ對シマスル緩和ノ方法ヲ講ジテ居ラナイノデアリマス、若シ之ヲ講ズルト致シマスルト、全體ノ上ニ各業ニ瓦リマシテドレダケノ程度ニナルカ、又ドウ云フ所ニ標準ヲ採ッテ宜シイカト云フコトニ非常ニ困難ナル問題ヲ生ズルノデアリマス、收入ノ上ノ見積リニ付キマシテ非常ニ困難ヲ生ズル、恐ラクハ、或ル程度ニ丁度宅地地價ヲ貨借價格ニ致シタ時ニ賃借價格ニ依テ宅地地價ヲ修正イタシタ時ノヤウナコトニデモ致シマスレバ、餘程減シスカラ、特ニ此點ニ付テ緩和ノ手段ヲ講ズル考ハ持テ居ラナイノデアリマス、ソレカ

ラ次ニ此市町村ガ地租事務ヲ取扱ヒマスル
上ニ付テ、現在名寄帳ヲ二百圓以下ノ田畠
地租ニ對シマシテハ免稅ヲ致ス結果トシテ
二十餘万圓程特ニ此名寄帳ヲ捲ヘル爲ニ計
上シテ居ルヤウダガト云フ御話アリマシ
タガ、是ハ御話ノ通り政府ノ提案ニ依リマ
シタナラバ、先づ初年度ニ於テ二十餘万圓
位ノ補助ヲ致シタナラバ、大體名寄帳ガ出
來ル、現ニ名寄帳ガアルノデアリマス、現
在ノ名寄帳カ不在地主、其町村ニ住居シテ
居ルモノノ間ニ區別ヲ付ケテ、其不在地主
ノ帳面ニ付キマシテ多少ノ手ヲ入レバ宜
シト考ヘマスノデ、大體ソレ位増セバ宜
シト云フ見込ミヲ以チマシテ豫算ヲ要求
イタシテ居ツタノデアリマスルガ、今回衆議
院ノ修正ニナリマシタヤウニ隣接町村ヲ入
レマシテ、ソレヲ合セテ二百圓未満ト云フ
コトニナリマスルト云フト、隣接町村トノ間
ニ御互ニ通報紹介等モ要スルノデアリマス
シ、又帳簿モ別ニ要スルコトニ相成ラウト
思ヒマス、又自作デアル、小作デアル…
詰リ小作ニ付セナイト云フコトノ區別ニ
依ヅテ之ヲ見マスルニ付キマシテハ、多少
其處ニ町村ノ費用モ殖工ヤウト思ヒマスノ
デ夫等ノ點ヲ考慮イタシマスルト云フト、
今回ノ修正ニナリマシタノデハ、二十餘万圓
ノ經費デハ市町村ニ對シテ…市町村費ニ
負擔ヲ命ズルコトニナルノデアリマスカ
ラ、國庫ト致シマシテ多少之ヲ増額シテ補
助シテヤルコトモ必要デアラウト云フ考ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、其金額ハ唯今計算
アリマスルガ、マダ左様ナ次第デ決定ハ致
致シマセヌガ、或ハ追加豫算デ御要求ヲ申
上ダルコトニ相成ルカトモ考ヘテ居ルノデ
ケデアリマシテ、未ダ大藏大臣ニ御話ヲ申

○委員長(子爵前田利定君) 午前ハ是デ會ヲ閉デマシテ、午後ハ一時三十分カラ開會イタシマス、尙ホ皆サシニ申上ゲテ置キマスガ、豫算會ガ既ニ始マッテ居リマスルノデ、大藏大臣ニ對スル質問モ豫算委員會ノ方デアラウト思ヒマスルノデ、大藏大臣ノ御身體ハ非常ニ御忙シカラウト思ヒマス、サレバト申シマシテ稅制委員會ニ於キマシテ審議ノ進行モ抄ラセナケレバナラヌ、其關係上此一兩日ハ豫算會ノ方ハ成ルベク大藏大臣ニ御出席ヲ願ヒマセヌデ、コチラヘ御出カケ下サルヤウニ豫算委員長ト打合セテ致シタノデゴザイマス、相成ベクハ大藏大臣ニ對シマスル大體ノ御質問ハ先ニ願ヒタイト考ヘテ居リマス、尙大河内子爵ハ當委員會ノ特別委員デハゴザイマセヌケレドモ、稅制ノコトニ付テ大藏大臣ニ質問ナナルカモ知レマセヌガ、其際ハ御異議ガナケレバ質問ヲ御許シ申シタイト思ヒマス
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) コレデ休憩イタシマス

午後零時二分休憩

午後一時四十五分開會

ノ機會ヲ御與へ下サイマシタ委員諸君ニ對シテ厚ク御禮ヲ申上ダマス、本會議ニ於テ實ハ質問ヲスル考へデ居リマシタガ餘り長引キマスカラ特別委員會ノ席ヲ拜借シテ質問ヲ致ス次第デアリマス、尙ほ私ノ伺ヒマスノハ極ク簡単ノ法律案デアリマスガ、酒精及酒含有飲料稅法中改正法律案デアリマス、是ハ御承知ノ通り今回ノ稅制整理ニ依リマシテ從來酒精ニ對シマシテ第二條中ニアリマス所ノ一圓五十錢ヲ一圓八十錢ニ改メルト云フノデアリマス、稅ノ上ニ於キマシテハ僅カ二割バカリノ增稅デアリマシテ、何等大ナル問題ヲ含ンデ居ラヌヤウデアリマスルケレドモ、之ヲ仔細ニ觀察イタシマスト中ニ産業上及ビ國防上ニ重大ナル關係ヲ持テ居ルト考ヘルノデアリマス、稅ニ於キマシテ約二割ノ引上デゴザイマスルガ、御承知ノ通り酒精ハ今日市價ハ稅ノ爲ニ普通無稅ノ場合ノ市價ノ先ヅ六倍乃至七倍ニ達シテ居ルノデアリマス、例ヘバ臺灣ニ於キマシテ糖蜜ヲ原料ト致シマシタ「アルコール」ナラバ、先ヅ「一ポンド」十錢内外ヲ以テ市場ニ供給スルコトガ出來ルノデアリマスガ、稅ノ爲ニ「一ポンド」ガ六十錢以上六十四五錢ニモ達シテ居ルノデアリマス、故ニ稅ニ於キマシテハ僅カ二割ノ增稅デアリマスルケレドモ、「アルコール」ノ市價ニ於テハ矢張リ一割五分内外ノ騰貴ニナルノデアリマス、此斯クノ如ク酒精ガ高價ニナルト云フコトハ、取リモ直サズ酒精ノ工業、酒精ヲ造リマスル所ノ生産ニ對スル非常ナル打擊トナルト思フノデアリマス、先づ此酒精ガドウ云フ關係ヲ有ル居ルカト考へマスルト、第一ニ極ク簡単十方面デハ學術上ノ研究ガ此爲ニ大打擊ヲ受ケルノデアリマス、御承知ノ通り近來ノ此有機化學ノ方面デハ酒精ヲ消費イタシマシ

テ、是ニ依ツテ種々ナル所謂「エキス」ヲ採取イタシマス、此化學研究所、或ハ大學、學校等ニ使ヒマスル酒精ノ量ト云フモノハ段々増シテ參ツテ居ルノデアリマス、是等ノ所ハ元來研究費ノ最モ少イ所デアリマス所ヘ、マタ酒精ノ増稅ノ爲ニ、研究ガ更ニ困難ニナルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、獨逸ニ於テハ既ニ二十年前學術研究用ニ使ハレル所ノ「アルコール」ト云フモノハ戻稅サレテ居ルノデアリマス、總テ稅ヲ免ゼラレテ居ルノデアリマスガ、不幸ニシテ今日日本ニ於テハマダソレ迄ノ運ビニ至ラテ居ナイノデアリマス、先ツ學術ノ方面ハ暫ク忍ブト致シマシテモ、產業副業トシテ發達スルニ最モ適シタル工業デアリマス、是ニ對シテ一番ノ成功ヲ收メテ居ルノハ矢張リ獨逸デアリマス、馬鈴薯ヲ原料トシマシテ各農村ノ持寄リノ酒精工場副業トシテ發達スルニ最モ適シタル工業デアリマス、是ニ對シテ「アルコール」ヲ作り、其澤ヲ以テ豚ヲ養ヒマシテ農村ノ副業ト致シテ居ルノデアリマス、殆ド世界中一番安イ酒精ヲ作ルコトガ出來テ居ルノデアリマス、是ハ酒精ニ對スル色ニノ副產物、酒精工業ノ時ニ出マス色ニノ副產物デ、例へバ豚ガ養ハレマストカ、或ハ肥料ガ出來マストカ云フ所カラ農村ヲ富マスノミナラズ、又一面ニ於テ工業ニ對スル一番安イ酒精ヲ供給シテ居ルノデアリマス、日本デハ不幸ニシテ酒ラズ、斯ノ如キ有利ナル副業ヲ見出スト云フコトニ付テモ、非常ナル障碍ヲ受ケテ居リマス爲ニ、此工業ガ興ツテ居ナイノデアルノデアリマス、今日ハ工業用ニ對シテハ

既ニ戻税制度ガ出来テ居リマシテ、例ヘバ火薬ノ製造、最モ餘計使ハレル火薬ノ製造デアリマス、或ハ「セルロイド」製造、或ハ塗料ニナリマス「ニス」、「エーテル」、石鹼、龍脳或ハ我ミノ喰ベマス食醋ノ製造夫等ニ使ヒマス所ノ酒精ト云フモノハ悉ク戻税ノ制度ガ出来テ居リマスガ、斯ノ如キ工業ト云フモノハ是ハモウ古イ、新シク起テ居リマス工業、或ハ其他ノ薬品ノ製造デアリマストカ云フヤウナ物ニ對シテハ、何等戻税トカ其他ノ恩典ガナイノデアリマス、今日酒精ガ斯ノ如ク稅制ノ引上げニ遭ヒマシテモ、民間ニ於テ之ヲ多量ニ消費シテ居リマス人達ハ一面ニ於テ戻税制度ガコザイマスルカラ反對ノ聲ハ少シモナイノデアリマスルガ、新シク工業ヲ起サウトカ或ハ又此酒精ヲ使ヒマスル色トナ新シイ産業ト云フモノニ對シテハ、殆ド聲モナシニ其儘泣寝入ニナッテ、結局日本デ起ラヌデシマヒマシタト云フコトヲ私ハ憂ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテハ政府ニ於テドウウ云フ考ヘデアルカト云フコトヲ能ク伺テ見タイト思ヒマス、モウ一ツハ國防上ノ問題デアリマシテ、御承知ノ通リ先程申シマシタ如ク火薬ノ製造ニハ多量ノ酒精ヲ使フノデアリマシテ、一旦有事ノ日ニナリマスト云フト、殆ド日本中ノ今日ノ酒精工場ヲ舉ゲテ製造ニ從事ノイタシマシテモ、尚ホ是ハ供給ガ足リナイカト思ハレル位デアリマス、所ガ一方ニ於テ稅ガ上リマシテ、益、酒精工業ノ勃興ト云フコトヲ阻止シテ題ハ「ガスリン」ノ是ガ代用燃料ニナルノデザ鎌倉ト云フ時ニナッテ、火薬ノ製造ニ第間ニ合ハナイ、ソレカラモウ一ツノ問

市價デハ、「ガスリン」ヨリ安ウゴザイマス
ルガ、稅ノ爲ニ是モ十分ナル使用ガナシニ
濟シデ居ルノデアリマス、「ガスリン」ハ當
然是ハ有事ノ日ニハ日本デ缺乏イタシマシ
テ、何等カ外ノ物ヲ以テ補ハナケレバナラ
ヌト云フコトハ、是ハ明カナ事實デアリマ
ス、今日ノヤウナ良イ「ガスリン」ハ假リニ
飛行機、航空隊ガ使フトシマシテモ、自動
者其他ノ軍需用ニ對シテハドウシテモ「ア
ルコール」ヲ燃料ト致シマセヌケレバ供給
ガ出來ナイノデアリマス、ソレガ又今度ノ
稅制ノ爲ニハ其問題ニ對シテ非常ナ打擊ヲ
受ケルノデアリマス、陸軍當局トシテハ國
防上ノ見地カラシテ、此稅制ニ對シテ…
改正法律案ニ對シテ、ドウニ云フ御見解ヲ持
テオ居ニナルノデアリマスカ、或ハ此問
題ニ付テハ特ニ大藏省當局ニ對シテノ御交
渉ガアツタノデアリマスカ、サウ云フヤウナ
コトモ重ネテ伺フテ見タイト思ヒマス、此
二點ダケヲ先づ最初ニ伺ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ノ
前段ニ對シマシテ私ヨリ御答ヲ致シマス、
工業用ノ酒精ニ對シテ戻稅ヲスルト云フ其
戻稅ノ範圍ハ從來屢々議論ヲ承ハル處デア
リマス、今日ノ戻稅ヲ致シマス工業ノ種類
種類デハ尙戻稅ノ範圍ガ狹キニ失スル、更
テ居リマシテ、其施行規則ニ列記サレテ居
リマス、其列記サレテ居リマス處ノ工業ノ
ル、之ニ基イテ大藏省ニ於キマシテハ大分
長イ間研究ヲ致シマシテ工業ノ獎勵ト云フ
ニ之ヲ相當ニ擴張スルコトガ必要デアルト
云フ主張ヲ各方面カラ屢々承ッタコトモア
ル、之ニ基イテ大藏省ニ於キマシテハ大分
コトハ固ヨリ必要ナコトデアル、又工業ニ
使ヒマス所ノ酒精ヲ工業獎勵ノ趣旨ニ依ッテ

戻税ヲスルコトハ主義ニ於テ固ヨリ結構ナ
コトデアリマスガ、只問題ハ取締ノ一點デ
アリマス、工業上ニ使フニ對シテ、他ノ用
途、即チ飲料ニ流用サレナイ如クニ適當ナ
ル變性ヲスル必要ガアリマス、其變性ヲシ
マス方法ガ工業上ニ使ヒマス時ニハ其當該
工業ノ妨ダニナラヌヤウナ變性デナケレバ
ナラヌト同時ニ、其變性ヲシタモノヲ又還
元シマシテ飲料用ニ適スル如キ變性デハイ
ケナインデアリマス、其條件ガナカヽ六
ツカシイノデアリマス、是ニ於テ大藏省ニ
於テハ其取締ノ點ニ著眼ヲ致シマシテ戻税
ノ範圍ヲ擴張イタシマスル種類ニ付テ研究
ヲ重ねテ居タノデアリマス、其研究ハナ
カナガ容易デ無イ處ノ技術的ノ研究デアル
サウデアリマス、然ル所既ニ材料モ集シテ
居リマシタガ震災ノ爲ニ材料ハ燒失致シマ
シタ、其後引續イテ調査研究ヲ續ケマシタ
結果、最近ニ於テ研究ノ終リマシタモノハ、
或程度ニ於テ擴張スルト云フ案ガ出來マシ
タ、唯今勅令案ノ起草中ニナフテ居リマス、ソレ
大體ノ方針ト致シマシテハ、醫藥品ノ製造
工業ニ於テ相當ナ擴張ヲ致シマシタ、ソレ
カラ又染料ノ製造工業、ソレニ使ヒマス
酒精ニ向テ相當ナ擴張ヲ致ス、此ニ通リ
ノ考ヲ以テ大體勅令案ノ草案ガ出來掛シテ
居リマス、此度稅法ヲ改正イタシマシテ稅
額ヲ二割高ク上ゲルニ付キマシテ工業用ノ
酒精ニ戻税ヲスル範圍ヲ擴張スルコトノ必
要カラシテ、從來ニ比シテ愈其重要ヲ加
ヘルト云フコトニナッタコトハ勿論ノ儀デ
アリマス、此勅令案ガ完成次第速カニ發布
ニ依テ多少ノ擴張ヲ致シマスルガ、ソレ
サレマシテ實行スルヤウニ致シタイト思
テ居リマス、而シテ此度發表イタシマスル
ニ調査ノ終タ部分ニ付テ改正ヲスルノデ、

ノ仕方ニ就イテ技術的ノ調査ノ完了シマシ
タ場合ニ於テハ、又更ニ戻税ノ範圍ヲ擴張
スル考デアリマスガ、是ハマダ今日調査ガ
終テ居リマセヌ、引續イテ其調査ヲ致ス
積リデアリマス、調査ガ出來次第取締上差
支ノナイト云フ見込ガ付キマスレバ、又勅
令ヲ改正シテ之ヲ實行スルト云フコトニ致
シタイト思ツテ居リマス、私カラ御答申ス
コトハ大體其點デアリマス

○政府委員(伯爵溝口直亮君) 只今大河内
子爵カラシテノ御質問ノ要旨、酒精工業ト
軍需資源ノ關係、是ニ就テ私カラ一通リ御
答申上げマス、此酒精ハ元來戰時ニ於ケル
軍需資源トシマシテ非常ニ必要ナモノデ、
御承知ノ通り火薬其外化學兵器ニ使ヒマス
ノミニラズ、「ガソリン」ノ代用トシマシテ、
自動車其他ノ燃料ニモ使用イタシマス、戰
時ニ於キマシテハ餘程多量ニ要リマシテ、
殆ンド内地臺灣朝鮮南滿洲コレ等ニアリ
マス所ノ酒精製造能力ノ全部ヲ最大限ニ使
ヒマシテモ漸ク先ヅ陸軍ノ需用ニ應ゼラル
ルカ、ラレナイカト云フ位ナ程度ニゴザイ
マス、從ヒマシテ陸軍以外ニ於ケル需要ヲ
考へマス場合ニハ、餘程ノ不足ヲ生ジマス、
尤モ此酒精ノ製造装置ハ染料トカ其他種々
ナル高級化學製品カラ見マスレバ、製造裝
置ガ餘程容易ニ出來マシテ擴張イタシマス
コトモ左程困難デゴザイマセヌカラシテ、
開戦後數箇月モ經マシタナラバ、ドウニカ
是ハ供給シ得ルヤウニナルダラウト云フ見
込デ居リマス、又其製造原料ト致シマシテ、
モ薩摩芋トカデヤガタラ芋トカ、ソレ等ノ
外ニ糖蜜、高粱、製紙廢液トカ、斯ウ云フ
ヤウナモノヲ使コトガ出來マスカラシテ、

シテ原料ノ供給ヲ受ケ得ラル、見込ガゴザイマス、以上ノ如クデゴザイマスケレドモ此軍需資源トシテ重要ナル位置ヲ占メテ居ル此製造工業ノ發展ヲ助長スルト云フコトハ軍需工業動員ノ見地カラ見テモ、大イニ其必要ヲ認メルモノデゴザイマス、當局ニ於テハ從テ今回ノ豫算ニ關稅率並ニ稅率ノ改正ニ同意イタシテ居リマスト同時ニ、尙ホ一方ニ於テハ酒精變性ノ方法及戻稅法等ノ研究ニ依リマシテ、工業ノ發展ヲ一層促進スルヤウニ努メテ居リマス、本件ニ付キマシテハ大藏省暨ニ商工省ト充分連絡イタシマシテ協力シテ目的ヲ達スルヤウニ努メツ、アリマス

アルコール製造所ニ於テ、ソコノ場所デ既ニ變性ヲシテ仕舞ヒマシテ、サウシテソレハ指定サレタ必ズ工業ニ使ハレルト決シタ所デナケレバ賣渡スコトヲ許サヌト云フヤウナ、取締法ニシマスナラバ戻税制度ニ依ラナクテモ宜イノデハナイカト思ハレルノデアリマス、戻税制度ニ依リマシテ範囲ヲ擴張イタシマスト、其度ニ又豫算ヲ御要求ニナラヌケレバナラヌト思ヒマス、今度御擴張ニナルトスレバ追加豫算等カ又此議會ニ現ハレテ來ナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、寧口酒精其モノヲ變性シマシテ其變性酒精ト云フモノニ對シテハ税ヲ徵收シナイト云フヤウナ制度ニハナラナイモノデアリマセウカ、無論是ハ一種類ノ變性法デハ出來ナイノデアリマス、甲乙丙丁色々ニ變性法ガアリマセウカラシテ、是等ノ研究用ノ酒精ニ對シテ何カ御考慮ガアリマスカ、此ニシヲ伺ヒタイ

究ニ差支ナキヤ否ヤ或ハ變性ヲ致スニイタシマシテモ、其變性ノ仕方ガ色ニ用途ニ之ガ取締上ニ於テ、果シテ取締ノ目的ヲ充分ニ達シ得ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ尙ホ攻究ヲ要スルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ只今御述ベニナリマシタヤウニ獨逸アタリデ致シテ居リマスルヤウニ、製造所ニ於キマシテ、變性ヲシテ、變性酒精ト云フモノニ對シマスル稅金ヲ免ズルトニカ、或ハ之ヲ廉クスルトカ云フ風ナコトニ付キマシテハ一層此變性ト云フコトニ付キマシテ研究ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、御承知ノ通リ關稅ニ於キマシテ變性酒精カ酒精ニ對シマシテ稅率ガ廉カツタ時代ガアルノデアリマスルガ、其場合ニ於テハ總て酒精カ變性ノ形ニナリマシテ廉イ稅デ這人ッテ來ルト云フ方法デアッタノデアリマス、這入ッテ參リマシテ之ガ當リ前ノ酒精ニ又蒸餾シ直サレルト云フコトガアリマシタ爲ニ、變性酒精モ酒精モ同ジ稅率ノ一圓ニ直サレタノデアリマス、今回ハ二割上ガリマシテ一圓二十錢ト云フコトニ提案イタシタノデアリマスルガ、サウ云フ風ニ變性酒精ヲ單ニ變性ヲ致シタダケデハ充分ニ取締ノ目的モ達シナイノデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ尙ホ十分ノ考究ヲ致シタイト云フ考ヲ有テ居ルノデアリマス、御趣意ニハ誠ニ御允モト考ヘルノデアリマスガ其目的ヲ達シマスル方法トシテ取締ト云フコトヲ考ヘマセヌト、御承知ノ通リ變性酒精ニ付テハ酒精ノ脱稅或ハ稅法違反ト云フモノガ工業用酒精ニハ隨分多イノデアリマス、大キナ犯則ガ居ルノデアリマス、御趣意ニハ誠ニ御允モト考ヘルノデアリマスカ、尙ホ今後御趣意モアルノデアリマスカ、尙ホ今後御趣意

ノ趣旨ヲ以チマシテ十分ニ考究イタシテ、
若シ適當ナル變性ノ方法ヲ得ラレルコトニ
ナリマシタナラバ、或ハ是ハ立法事項ニ相成
ルノデアリマスカラ、法律ヲ改正シテ必要
ナ規定ヲ設ケル云フコトガ、或ハ必要ニ相
成ルカト考ヘマスガ、今日ノ所ニ於テハマ
ダサウ云フ方法モ發見イタシテ居リマセヌ
次第デアリマス、將來ニ於テ十分ニ考究イ
タシタイト云フ考ヘヲ有テ居リマス
○子爵大河内正敏君 私ノ質問ハ終リマシタ
○男爵藤村義朗君 私ハ數項ニ亘テ色ニ
御質問申上ダタイコトモアリマスルガ、差
當リ一般的ノ問題ニ付テ少シ伺ッテ置キタ
イトイ思ヒマス、今回ノ整理ハ此間モチヨ
ト本會議デ同ヒマシタガ、歲入ニ著シキ増
減ヲ致サザル範圍ニ於ケル整理、此コトニ
付テ別ニ申上ダル譯デハアリマセヌガ、詰
リ此度ノ整理ハ負擔ノ輕減デハナイ、負擔
ノ均衡ヲ圖ルノミノ整理デアルト云フ御詰
デアリマス、サウシマスルト云フト、負擔
ノ輕重ハドウ云フ標準デ御定メニナツタカ
ト云フコトヲ伺ハナケレバナラヌ、此事ニ
付イテ此間數字ノ御示シヲ願ツクノデスガ、
是ハ餘程難カシイト云フ御答辯デアリマシ
タガ、御尤モト思ヒマス、隨分難カシイ問題
ダラウト思ヒマス、數字ガ分ラスト云フ
コトナラバ、大體凡ソノ見込ミヲ夫々銘記
付ケナケレバナラヌ、ソレニ付テハ大藏大臣
カラノ御説明ヲ承リタイ、何カ據リ所が
ナケレバナリマス、マイ思フ、先立テ大
藏大臣ノ本會議ニ於ケル本案ノ御説明ニ
尤モ此中ニハ衆議院デ修正サレマシタ九百
六十万圓ト云フ地租ノ一分減モ這入ッテ居
ルト存ジマス、ソシテ増稅ノ方ガ煙草ノ
ルト存ジマス、ソシテ増稅ノ方ガ煙草ノ

值上ダナドヲ加ヘテ總計デ八千二百七十万圓ト云フ御説明ヲ承リマシタ、詰リ一分減フノ九百六十万圓ヲ差引キマスルト云フト、
負擔ガ増スト云フコトニナリマスガ、其他ニモ是ハマア和稅ノ方ニハ全然關係ナシト云フヤウナ御説明ガドチラカデアッタヤウニ思ヒマスガ、關稅ノ增收ガ：：此度ノ關稅定率法ノ改正ニ依テアルダラウ、ドノ位アルカ私ハ存ジマセヌガ、サウシマスルト云フト、國民ノ負擔ト云フモノガ全體ニ於テソレダケ増スト云フヤウナ勘定ニナリマス、ソシテ租稅トシマシテハ、僅カニ百二三十万圓ヲ増シマスルカラ、先ヅ以テ著シキ増減ナシト云フコトニ當ルノデアリマス、併ナガラ一方ノ此負擔ノ輕重ヲ定メルト云フコトハ、困難デハアリマセウドモ、直接稅ト間接稅トノ關係ニ付テ見マスルト、大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテ、數字ニ依テ差引イテ見マスルト、直接稅が二千六六十万圓程ノ増ニナツテ居ル、ソレカラ二一千七百万圓ノ減稅ト云フ譯デスカラ、差引五百四十萬圓程ノ直接稅トシテハ減ニナツテ居ル、間接稅ノ方ハ五千四百万圓程ノ減ニ對シテ、六千万圓餘リノ增稅デアリマスルカラ、差引六百六七十万圓ノ増ニナル、是ニ此關稅ノ改正ニ依ル増收ヲ加ヘマスルト云フト、所謂間接消費ト云フモノ、國民ノ負擔ハ大變ニ多クナル、大藏大臣ハ直接稅間接稅ノ増減ハ別ニ直接稅ガ減タカラ資本階級ノ負擔ガ少クナツタトカ、間接稅ガ殖工タカラ中產以下ノ者ノ負擔ガ重クナツタト云フヤウナコトハ言ハレナイト云フヤウナ御説明アッタヤウニ承ツテ居リマス、兎ニ角中產階級以下ハ

シテ大藏大臣ガ仰セラレルヤウナ社會政策シテ、サウ云フ疑問モ起ルノデス、其邊ニ付テ尙ホ私ノ考ガ間違テ居ルカ知レマセヌガ、大藏大臣ノ御考ヘノ所ヲ伺ヒタイトコトニ付テ、マア數字上ノ關係カラ見マシテ、サウ云フモニ付テ、ソレニ尙ホ關聯シマシテ、近頃政府ハ頻リニ社會政策云々ト云フコトヲ頗リ高調シテ御居ニナルヤウデアリマス、政府ノ所謂社會政策ト云フモノハドウ云フモノデアルカト云フコトモ私ハヨクハッキリ存ジマセヌデスガ、餘リニ社會政策社會政策ト云フコトヲ政府トシテハ御唱へ過ギニナリハセヌカト云フヤウナ感ジガアルノデス、唯ダ資產階級ニ重ク賦課シテ、中產階級以下ノ下層ノ階級ニ對シテハ負擔ヲ輕クスルト云フヤウナコトガ政府ノ社會政策ト云フ風ニ御考ニナッテ居ルヤウニ思フノゾデゴザイマスガ、果シテサウデゴザイマセウカ、若シサウ云フコトデアルト云フト、此中產階級、即チ國民ノ思想、道德、或ハ經濟上其他ノ中堅トナツテ居リマスル、中流階級ノコトニ付テハ、今度ノ稅制整理案テハ御考ヘニナツテ居ラヌヤウニ私ハ思フノデス、ドニナツテ居ラヌヤウニ私ハ思フノデス、ド苦シメラレルヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマス、其邊ニ付キマシテモ、一應ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、先ヅ第一ニソレダケノコトニ付テ……

ト云フト、其點ニ於テ九百六十餘方圓ノ歲入ノ減ガ元へ戾リマス、ソレダケノ歲入ガ原案ニ比シテ増加ヲスル結果ニナリマス九百六十何方圓ノ地租一分減ノ見合セニ依テ生ズル歲入ノ增加ト、政府ノ原案デアッタ所ノ八百三十万圓ノ歲入ノ減少ニナルベキ計算ヲ差引マスト、丁度御計算ノ通り、平年度ニ至ツテ百三十万圓ノ增收ニナリマス、國民全體ノ負擔カ此度ノ稅制整理ニ依テ増シタ、百三十万圓ダケ増シタト云フ計算ニナリマス、是ハ御計算ノ通り間違ヒアリマセス、併シ是亦百三十万圓位ノモノデアリマスカラ、歲入ニ著シキ増減ノナイ範圍ニ於テ行ハレルノデアルト思^タテ居リマスノミナラズ、此稅制ノ整理ト此教育費ノ一千萬圓ノ負擔額増加ヲ綜合シテ考ヘマスト云フト、其點ニ於テハ、國民ノ負擔ノ輕減ト申シマスコトハ、初メノ政府ノ原案ニ考ヘテ居タ所ト同様ニナルト思ヒマス、大體ニ於キマシテ、免ニモ角ニモ歲入ハ大體ニ於テ減少シマセヌ所ヘ、今御詫^タノ通り關稅ノ改正ヲ行ヒマス、關稅ノ改正ニ依リマシテ大正十五年度ニ於キマシテハ七百五十万圓ノ增收ニナルノデアリマス、十六年度以降ニ八年々千九百三十万圓ノ增收ト云フ計算ニナッテ居リマス、其數字ヲ御加ヘニナリマスト云フト、ソレダケ國民ノ負擔ノ總額ガ増シタト云フコトハ言ヘマス、言ヘマスケレドモ政府ノ考ヘト致シマシテハ、數回衆議院ニ於キマシテモ説明ヲ致シテ置キマシタ通り、關稅ノ改正ト云フコトト、稅制ノ整理ト云フコトト全ク別ナ事柄ト考ヘラレマス、稅制ノ整理ハ御承知ノ通り、前議會ニ於テ、時ノ加藤總理ガ内閣ノ新シイ所ノ政策其聲明ニ基イテ此度實行シタ譯デアリマスガ、關稅ノ改正ハ是ハ御承知ノ通り明治四

十三年ニ一般的ノ改正を行ハレマシタ以
來、今日ニ至リマスマデ、極メテ局部的ノ
改正コソ行ハレマシタガ、一般的ノ改正ハ行
ハレテ居リマセヌ、其間ニ於テ内外ノ經濟
的狀態ハ非常ニ變化ヲ致シテ參リマスシ、
又内地ノ產業ノ狀態モ、殊ニ歐洲大戰ノ後
ヲ受ケマシテ、非常ナル所ノ變化ヲ告ダマ
スシ、從フテ國民生活ノ上ニモ亦物價ノ上
ニモ容易ナラザル變動ヲ起シマシタカラ、
此關稅ノ一般的改正ト云フコトハ縱令稅制
整理ヲヤルト云フ意思ノナイ内閣デアリマ
シテモ、如何ナル内閣ガ出來マシテモ、關
稅ノ改正ダケハドウシテモヤラナケレバナ
ラヌ機運ニ迫テ居タノデアリマス、既ニ
前議會ニ於キマシテモ、前々議會、即チ一昨
年ノ特別議會ニ於キマシテモ、貴衆兩院ノ御
方カラ何故速カニ一般的ノ關稅ノ改正ヲヤ
ラヌカト云フ御非難モ起キマスシ、此席ニ
御出デノ藤山君カラモサウ云フ御質問ヲ受
ケテ居リマス、從フテ關稅改正ノ問題ハ稅
制整理トハ全然別個ノ事業トシテ行シタノ
デアリマス、ソレデ關稅改正ニ依ル增收ヲ
稅制整理ニ依ル所ノ國民ノ負擔ノ増減ノ差
引ノ金額ノ上ニ加ヘマシテ、此度稅制整
理ニ依リマシテ、更ニ國民ノ負擔ガ増シタト
云フ御計算ニナルコトハ、政府ノ考へトハ
少シ違フテ居リマス、無論關稅改正ノ關係
ヲ申シマシテモ、平年度ニ於テ千九百三
十万圓ノ歲入ノ增額ト云フコトハ、果シテ
永久ニ續クカドウカト云フコトモ、無論問
題デアリマス、關稅ノ改正ノ目的ノ、主ナ
ルモノハ内地ノ重要產業ノ成り立ツヤウニ
ト云フ目的ヲ以テ、外國ノ輸入品ニ對シ一
様ナ限度ノ保護ヲ加ヘル事デアリマス、其
保護ガ完全ニ目的ヲ達シマシタ十數年若
クハ數十年ノ後ニ於キマシテハ、或ハ内地
ノ產業ガ十分ニ發達ヲ致シマシテ、外國ノ

輸入品ハ、或品物ニ限^{シテ}ハ非常ニ減退ヲ
スルト云フコトガ、アルト云フコトモ考へ
ラレルノデアリマス、サウスレバ此點ニ於
イテハ關稅ノ改正ノ爲ニ增收ニナルト思^フ
テ居^{シタ}ノガ、却^{シテ}減ルト云フコトモ起ル
デアリマセウ、遠キ將來ヲ考へマスレ
バ：：其代リニ他ノ工業ノ發達ニ依リマシテ
テ、原料材料ノ輸入ガ殖ヘル、是等ハ無稅品
金ノ物ハ關稅ニ關係シマセヌガ、有稅品ダ
殖ヘマスルナラバ其點ニ於テ增收ガアルト
云フ變化ヲ、將來ニ向テ生ズルモノニアリ
マス、ソレカラ又或ル品物ニ依リマシテハ、
關稅ヲ増徵シマシタ結果トシテ外國ノ輸入
品ガ不利益ニナル、ソコデ内地ノ工業ダ利
益ヲ得ルト云フコトニナリマスト云フト、
是迄折角設備ヲ持^フテ居リマシテモ其設備
ヲ十分ニ働くコストガ出來ヌデ半分ノ能力
シカ働くセ得ナカッタ、或ハ三分ノ一シカ働く
カセ得ナカッタ云フヤウナ事業モアルト
思ヒマス、サウ云フ事柄ハ、關稅ノ引上ヲ
機會ト致シマシテ全力ヲ擧ダテ品物ノ生產ニ
ニ從事スル、或ハ設備ガ足リナケレバ更ニ
設備ヲ擴張イタシマシテ、其品物ノ生產ニ
從事スルト云フコトガ起^シテ來ナケレバナ
ラヌト思ヒマス、サウ云フコトガ起^シテ參
リマスト、即チ大量生產ガ行ハレマシテ、
却^{シテ}今日ノ狀態ヨリモ、物ガ生產費ガ安ク
出來ルト云フコトガ有リ得ベキコトダト考
ヘマス、サウスルト、必シモ關稅ノ增加ニ
依^リテソレダケ國民ノ負擔ガ増加スルモノ
トハ考ヘラレマセヌ、サウ云フ關稅ニハ特
殊ノ事情モアリマスガ、免ニモ角ニモ今日
ニ於テ關稅ノ改正ニ依ル所ノ歲入ノ增加
ト、稅制整理ニ依ル所ノ國民ノ負擔ノ増減
トハ、政府ハ全然別問題トシテ考へテ居リ
マスルシ、又別問題トシテ考ベキ事柄ニア
ルト思^フテ居リマス、關稅ノ增收ハ、只今申

シマスル通リ重要産業ノ保護ト、一面ニ於テハ國民生活ノ安定ヲ圖ル爲ニ、一ツノ政策上ノ見地カラ行ヒマスノデ、ソレニ依フテ增收ヲ圖ルト云フ目的ヲ以テ行ヒタモノデハアリマセヌノデ、產業保護ノ結果輸入品ニ相當ノ稅ヲ掛ケル、ソレガ偶然ニ九百万圓ノ增收ヲ見ルト云フダケノコトデアリマス、國民ノ負擔ヲ増ストカ、負擔ヲ減ストカ云フ目的トハ違ヒマスカラ、稅制整理トハ別問題ニスベキモノデアラウト思ヒマス、此事ハ特ニ附加ヘテ申上ダマス、其他ノ點ニ於キマシテハ是ハ御計算ノ通りト云フコトヲ計算ニ入レテ、何百万圓ニナルト云フコト、是亦御計算ノ通りト思ヒマス、此反對ニ間接國稅ノ增加ハ、酒煙草清涼飲料稅ノ新設、骨牌稅マデ加ヘマスルト、是ハ六百數十万圓ノ增加ニナルノデアリマセウ、是モ私ハ認メルノデアリマス、併ナガラ豫テモ申上ダシタ通り、社會政策ト云ヒマスコトハ、必シモ、間接稅ノ減免ニアルカラ多數國民ノ負擔ガ輕減ヲセラレテ社會政策ガ行ハレタ、直接國稅ノ減免デアルテ居リマセヌノデアリマス、確カ本會議デドナタカノ御質問ニ對シテ御答ヲ申シタト思フテ居リマスガ、直接國稅ニ於テ、御市シニナッタヤウナ金額ガ減少イタマシタ重大ノ理由ハ、地租ニ於ケル所ノ免稅點ノ設定デアリマス、アノ關係ニ於テ千二百万ノ減收ヲ見テ居リマス、相續稅ノ免稅點ノ別上ダニ依リ數十万ノ減收ヲ見テ居ル、斯様子關係ニナッテ居リマスカラ、直接國稅ノ減ゼラレタモノガ、増サレタモノヨリモ多クナッテ

居ルノデアリマス、即チ是ハ資産階級ニ對スル所ノ負擔ノ輕減ト云フ意味ナクシテ、只今御市シニナリマシタ中產階級殊ニ中產階級ノ下層ニ在リマスモノノ負擔ノ輕減ヲ圖ル目的ヲ以テ行タル所ノ免稅點ノ設定若クハ引上ダデアリマス、是ハ恰モ間接國稅ノ減免ト同一作用ヲ社會政策的ニ爲スモノデアルト、御了解ヲ得ルコトが出来レバ幸デアルト思テ居リマス、間接稅ノ增加ト云フコトヲ申サレマシタ、如何ニモ間接國稅ト云フモノヲ綜合シテ見マスト云フト、増減ヲ差引キマシテ六百餘万ノ増加ニナンテ居リマスガ、サテ其增加セラレタ所ノ間接國稅ノ内容如何ト申シマスルト云フト、減タ方デハ生活ノ必需品ニ對スル課稅ガ減タ方デハ生活ノ必需品六百万圓ノ增加デアリマスルト六百万圓ノ增加デアリマスルケレドモ、其内容カラ申シマスルト云フト、減ル方ハ生活ノ必需品ガ減タ方居リ、殖ヘル方ハ嗜好品ガ殖ヘテ居リマスルカラ、是ハ敢テ差支ナイト思テ居リマス、ソレカラ社會政策ニ付キマシテノ御話ガアリマシタ、是ハ如何ニモ御尤モノ御意見ト拜承イタシマシタガ、政府ノ社會政策ト申シマスルコトハ別ニ、外デハアリマセヌ、丁度藤村男爵ガ御擧ゲニナリマシタ社會政策ノ意義、單リ無產階級ノ負擔ヲ減ズル、或ハ無產階級ノミニ福利ヲ増進スルト云フ意味デアッタノデハアリマセヌノデ、只今直接國稅ノ免稅點ノ事ニ付イテ說明ヲ申上ダマシタ通リニ、中產階級以下多數國民ノ負擔ヲ輕減シ其福利ヲ増進スルト云フ目的ヲ以テ、此度ノ稅制整理ヲ行ヒマシタ、ソレヲ稱シテ社會政策ト申シテ居ルヤウナ次第アリマス、今日ノ國民ノ社會的組織ノ狀況

ヲ考へテ見マスト云フト、何申シマシテモ、中產階級ガ日ニ月ニト云フテハ語弊がありマスガ次第ニ凋落ニ趣クト云フ傾向ヲ認ムルノデアリマス、申ス迄モアリマセヌガ、此中產階級ハ即チ國民ノ中堅デアリマス、此心デアリマス、道德ノ中心デアリマス、此中心デアル所ノ中產階級ガ次第ニ上ト下トノ兩方ノ階級ニ、或ル者ハ上リ或ル者ハ下リマシテ、中產階級ノ實體ガ凋落シマスルト云フコトハ、社會組織ノ不健全デアルト云フコトヲ意味スルモノデアリマスカラ、其中產階級ノ維持發達ト云フコトハ、非常ニ是ニハ重キヲ置カナケレバナラヌコト、思フノデアリマス、固ヨリ中產階級ノ培養ニ付キマシテハ、單リ稅制整理ノミニ依ツテ其目的ヲ達シ得ベキモノデハゴザイマセヌ、國家ノ總テノ政策ヲ綜合イタシマシテ中產階級ノ維持獎勵ト云フコトニ向ハナケレバナリマセヌガ、此度ノ稅制整理ヲ行フ時ニ當リマシテモ一ツハ其目的ヲ以テ社會政策ヲ行ハウトシタ積リデアリマス、其覓地カラ、前段申シマシタ直接國稅ノ免稅點ニ向テ相當ナル所ノ改正ヲ加ヘタト云フ次第ニアリマスカラ、是ハ單リ無產階級ノ負擔ヲ輕減シテ其福利ヲ増進スルト云フコトノミニ止マリマセズ、中產階級以下多數國民ノ福利ヲ增進シ其負擔ヲ輕減スルト云フコトヲ稱シテ社會政策ト政府ハ申シテ居ル積リデアリマス、大體御答へ申上ダマス

○男爵藤村義朗君 御説明ヲ承リマシテ、關稅ト稅制ハ全ク別問題デアル、又別問題トシテ考へナケレバナラヌ、稅制ノ整理ノ有ル無シニ拘ラズ關稅ハ今年ニ於テ改正スル積リデアッタ、故ニ此差引ノ金額ニ加ヘルト云フコトハイケナイ、又將來ドウニ云フ

變化ガ起シテ、或ハ是ガ爲ニ關稅ヲ差當リ
増徵スルコトニナシタガ、將來ニ於テハ或
ハ國民ノ負擔ハ輕減サレルカモ知レヌト云
フ御詔ヲ特ニ承リマシタ、關稅ト稅制トハ
別問題デアルト云フ御詔ナラバ、地租一分
減ト義務教育費ト云フモノモ別問題デ全然
是ハ性質ガ違フ、更ニ一層性質ガ違フ問題
デアリマス、然ルニ大藏大臣初メ政府ハ、
政府ノ政策ト云フモノハ稅制整理ノミデ決
スルノデヤナク、外ノ事モ考ヘナケレバナ
ラスト云テ、地租一分減ノ方デハ教育費
ヲ非常ニ此方ニ絡メテ御在ニナル、義務
教育費國庫負擔ト云フコトハ、其第一ノ目
的ハ私ハ決シテ負擔輕減ト云フモノガ目
的デナカラウト思フ、矢張教育改善ト云
フコトノ方ガ第一ノ目的デ、ソレハ私ハ能
ク知リマセヌケレドモ、或ハ此法律ニ、國
庫負擔法ノ法律ニ載テ居リヤセヌカ、サ
ウスルト云フト一方ニ於テハ、御都合次第
デ一方デハ關稅ト稅制トハ別問題デアル、
是ハ別ニ考慮ヲシナケレバナラスト仰シャ
ル、又一方ニ於テハ地租一分減トハ關聯シ
テ居ルカラシテ、是ハ一緒ニ達觀シテ考ヘ
ナケレバナラスト云フ御答辯ハ、ドウモ其
モノニ依シテ、政府ノ御便宜ニナルヤウニ
ドッヂニデモ御變更ニナルト云フ御詔デ
ガアリヤセヌカト思ヒマス、併シ是ハマア
サウニフ感ジヲ申上げテ置キマス、又此間
接稅ノ減ラシタモノハ生活必需品ト云フ御詔デ
アツクノデス、私共酒ハ嫌ヒデスカラ能ク
ハ寧ロ生活ノ嗜好品デアルト云フ御詔デ
アツクノデス、私共酒ハ嫌ヒデスカラ能ク
分リマセヌケレドモ、多數ノ人ノ話ニ依ル
ト、此一千八百万圓カラ取レテ居リマス酒造
稅ノ酒或ハ麥酒ト云フヤウナモノ、是ハモウ
イデアラウト思フノデアリマス、煙草モ同様

デアリマス、現ニ此委員會デ煙草ヲ禁ゼラ
レテ居リマス爲ニ私ノ質問ガ非常ニシニク
イ、ドウモ何シダカ頭ガ苛々シテ、煙草デ
スルノデヤナク、外ノ事モ考ヘナケレバナ
ラスト云テ、是ハ矢張リ生活ノ必需品デアリマス、ソレ
モ喫シニユジクリヤレバモウ少シ宣イ御質
問モ出來ルト思ヒマス、サウ云フ風ナ譯デ
是ハ矢張リ生活ノ必需品デアリマス、ソレ
スルノモナカナカ今度御殖ヤシニナルト云
フコトハドウデアラウカト思ヒマス、是モ
併シ此上ハ意見ノ相違デセウカラニシテ、中產階級ニ重キヲ置イテ是ガ維持獎勵ニ政府ニ
於テ御詔リ下サルト云フコトハ試ニ私ハ結
構ト思ヒマス、是ハ是非サウ御願ヒシタ
イ、今日最モ割リノ宜イノハ所謂富豪階級
ト此下層階級デアリマス、一番苦シニ居ル
ノガ中產階級デアリマス、此階級ニ對シテ
ハナカラウト思フ、矢張教育改善ト云
フコトノ方ガ第一ノ目的デ、ソレハ私ハ能
ク知リマセヌケレドモ、或ハ此法律ニ、國
庫負擔法ノ法律ニ載テ居リヤセヌカ、サ
ウスルト云フト一方ニ於テハ、御都合次第
デ一方デハ關稅ト稅制トハ別問題デアル、
是ハ別ニ考慮ヲシナケレバナラスト仰シャ
ル、又一方ニ於テハ地租一分減トハ關聯シ
テ居ルカラシテ、是ハ一緒ニ達觀シテ考ヘ
ナケレバナラスト云フ御答辯ハ、ドウモ其
モノニ依シテ、政府ノ御便宜ニナルヤウニ
ドッヂニデモ御變更ニナルト云フ御詔デ
ガアリヤセヌカト思ヒマス、併シ是ハマア
サウニフ感ジヲ申上げテ置キマス、又此間
接稅ノ減ラシタモノハ生活必需品ト云フ御詔デ
アツクノデス、私共酒ハ嫌ヒデスカラ能ク
分リマセヌケレドモ、多數ノ人ノ話ニ依ル
ト、此一千八百万圓カラ取レテ居リマス酒造
稅ノ酒或ハ麥酒ト云フヤウナモノ、是ハモウ
イデアラウト思フノデアリマス、煙草モ同様

充實トカト云フノデセウケレドモ、免ニ角
金ヲ作ラナケレバナラヌ、金ヲ作ルニハ此
資產階級モ相當ニ保護ヲシテ、最モ資產階
級ノ方ニガ合名會社トカ同族會社トカト云
モ喫シニユジクリヤレバモウ少シ宣イ御質
問モ出來ルト思ヒマス、サウ云フ風ナ譯デ
是ハ矢張リ生活ノ必需品デアリマス、ソレ
スルノモナカナカ今度御殖ヤシニナルト云
フコトハドウデアラウカト思ヒマス、是モ
併シ此上ハ意見ノ相違デセウカラニシテ、中產階級ニ重キヲ置イテ是ガ維持獎勵ニ政府ニ
於テ御詔リ下サルト云フコトハ試ニ私ハ結
構ト思ヒマス、是ハ是非サウ御願ヒシタ
イ、今日最モ割リノ宜イノハ所謂富豪階級
ト此下層階級デアリマス、一番苦シニ居ル
ノガ中產階級デアリマス、此階級ニ對シテ
ハナカラウト思フ、矢張教育改善ト云
フコトノ方ガ第一ノ目的デ、ソレハ私ハ能
ク知リマセヌケレドモ、或ハ此法律ニ、國
庫負擔法ノ法律ニ載テ居リヤセヌカ、サ
ウスルト云フト一方ニ於テハ、御都合次第
デ一方デハ關稅ト稅制トハ別問題デアル、
是ハ別ニ考慮ヲシナケレバナラスト仰シャ
ル、又一方ニ於テハ地租一分減トハ關聯シ
テ居ルカラシテ、是ハ一緒ニ達觀シテ考ヘ
ナケレバナラスト云フ御答辯ハ、ドウモ其
モノニ依シテ、政府ノ御便宜ニナルヤウニ
ドッヂニデモ御變更ニナルト云フ御詔デ
ガアリヤセヌカト思ヒマス、併シ是ハマア
サウニフ感ジヲ申上げテ置キマス、又此間
接稅ノ減ラシタモノハ生活必需品ト云フ御詔デ
アツクノデス、私共酒ハ嫌ヒデスカラ能ク
分リマセヌケレドモ、多數ノ人ノ話ニ依ル
ト、此一千八百万圓カラ取レテ居リマス酒造
稅ノ酒或ハ麥酒ト云フヤウナモノ、是ハモウ
イデアラウト思フノデアリマス、煙草モ同様

デアリマス、現ニ此委員會デ煙草ヲ禁ゼラ
レテ居リマス爲ニ私ノ質問ガ非常ニシニク
イ、ドウモ何シダカ頭ガ苛々シテ、煙草デ
スルノモナカナカ今度御殖ヤシニナルト云
フコトハドウデアラウカト思ヒマス、是モ
併シ此上ハ意見ノ相違デセウカラニシテ、中產階級ニ重キヲ置イテ是ガ維持獎勵ニ政府ニ
於テ御詔リ下サルト云フコトハ試ニ私ハ結
構ト思ヒマス、是ハ是非サウ御願ヒシタ
イ、今日最モ割リノ宜イノハ所謂富豪階級
ト此下層階級デアリマス、一番苦シニ居ル
ノガ中產階級デアリマス、此階級ニ對シテ
ハナカラウト思フ、矢張教育改善ト云
フコトノ方ガ第一ノ目的デ、ソレハ私ハ能
ク知リマセヌケレドモ、或ハ此法律ニ、國
庫負擔法ノ法律ニ載テ居リヤセヌカ、サ
ウスルト云フト一方ニ於テハ、御都合次第
デ一方デハ關稅ト稅制トハ別問題デアル、
是ハ別ニ考慮ヲシナケレバナラスト仰シャ
ル、又一方ニ於テハ地租一分減トハ關聯シ
テ居ルカラシテ、是ハ一緒ニ達觀シテ考ヘ
ナケレバナラスト云フ御答辯ハ、ドウモ其
モノニ依シテ、政府ノ御便宜ニナルヤウニ
ドッヂニデモ御變更ニナルト云フ御詔デ
ガアリヤセヌカト思ヒマス、併シ是ハマア
サウニフ感ジヲ申上げテ置キマス、又此間
接稅ノ減ラシタモノハ生活必需品ト云フ御詔デ
アツクノデス、私共酒ハ嫌ヒデスカラ能ク
分リマセヌケレドモ、多數ノ人ノ話ニ依ル
ト、此一千八百万圓カラ取レテ居リマス酒造
稅ノ酒或ハ麥酒ト云フヤウナモノ、是ハモウ
イデアラウト思フノデアリマス、煙草モ同様

ミデハナイノデアリマス、即チ是マデノ外形標準課税主義ヲ止メマシテ、營業純益稅ニナシタト云フコトガ、即チ此產業ノ發達ヲ助成スル爲ニナル、斯様ナ意味デ申シタノデアリマス、屢々申シマスケレドモ、外形標準課税主義ハ純益ニ比例シナイ、從ツテ當業者ハ非常ニ苦痛ヲ受ケル、無論損ガアリマスレバ、現在ノ法律ノ規定ニ依シテモ稅ハ取りマセヌケレドモ、利益多少ニ拘ラズマシテ外形標準ノ如何ニ拘ラズ、營業純益ニ應ジテ所謂應能課稅ノ原則ニ從ツテ、之テ居ルト思テ居リマスカラ、其制度ヲ廢シテ課稅スルト云フコトニシタラ、其結果トシテ商工業者ハ安ンジテ商工業ノ發展ニ努力スルコトガ出來ル、ソレガ即チ產業ノ發展ニナルト云フ主義デアリマスカラ、僅ニ四百万圓ノ負擔ヲ減少シタト云フコトノミヲ以テ、產業ノ發展ヲ助成スル値ハ僅ニ四百万圓デアルト云フ御解釋ニナラヌヤウニ希望イタシマス、是ハ全部ニ付テ申シタ次第デアリマス

複スルヤウナモノハ、慥カ昨日モ添田君カラ御話ガアツタカト記憶シテ居リマスガ、或ハ此資本利子税ノ如キハ第一種所得税ノ方ニ入レテ仕舞タ大方ガ宜ノデハナイカト思フヤウニモ考ヘラレマス、詰リ屢々此度ノ整理ニ於テサウ云フ租税ノ單純化ヲ圖ルト云フコトニ付テ、何等カ御考ニ相成シタコトガ制度ノ上ニ現ハレテ居リマスカ、ドウデアリマスカト云フコトヲ一應伺ツテ置キマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 資本利子税ニ付テノ御說ハ初メニモ承ハリマシタ、又ソレニ付テノ御答ヲ洩ラシマシタガ、唯今モ御尋デアリマスカラ申上ダマスガ、若シ資本利子税ガ非常ニ税率ガ重クテ、之ニ依ツテ資本ノ利子ノ負擔ガ大ヘンニ重イト云フノデアリマスト云フト、是ハ餘程政府モ考ヘナケレバナラヌシ、世間デモソレニ對スル種々ノ議論ガ起ルデアラウト考ヘマスガ、此度ノ資本利子税ハ百分ノ二ト云フ大體輕度ノ税率デアリマス、先ヅ是位ノ率デアリマスレバ、別ニ資本利子ノ所得ニ對シテ過重ノ負擔トモ考ヘラマセヌ、ノミナラズ總テ資本ガ、國債ヲ初メトシテ一率ニ一樣ニ課税ヲ受ケルコトニナリマスカラ、別ニ貯蓄ノ獎勵ヲ妨ゲルトカ、或ハ有價證券ノ價格ヲ下落セシムルトカト云フヤウナ弊害ヲ起ス程ノモノデハナカラウト考ヘマス、是モ税率ノ決メヤウデアリマス、或ハ百分ノ五デアルトカ、百分ノ七デアリマストカ、一舉ニシテヤラウト云ヒマスト、ソレハ如何ニモ御說ノ通り資本ニ重課セシムルコトニナリマスガ、先ヅ百分ノ二程度デアリマスレバ、私ハ大體弊害ハナイヤウニ考ヘマス、又ソレタケノモノニハサウ云フ程度ニ課シマセヌト、他ノ資産カラ生ズル所得ニ對シマシテ、明ニ權衡ヲ失スルコトニナリ

マシテ、其方カラノ非難モアルノデアリマシテ、サウニフ點ヲ考慮イタシマシテ是ハ別ニ設ケタ譯デアリマス、所得税ト一緒ニシナカッタノハ、屢々申上ダマスル體系論カラ出タル譯デアリマス、ソレト實行上ノ問題トシテハ、國債ノ利子ニ對シテ課税スルト云フコトガ一ツノ主體デアリマス、其次ニ租稅ノ單純化ト云フコトニ付テ、此度ノ整理ノ時ニ考ヘナカッタカ、斯ウニフ御質問デアリマシタガ、如何ニモ資本利子稅ト云フヤウナモノヲ別ニ設ケマジタノハ、租稅ノ制度ヲ複雜ナラシムルヤウニ考ヘラレマスケレドモ、ソレハ單ニ其一點ノミデアリマス、租稅ノ數カラ申シマスト云フト、間接國稅ニ於テ大ヘンニ租稅ノ數ヲ減ジテ居リマス、從來ノ稅種ニ比較シマシテ、此度ノ整理ニ於キマシテ相當ニ數ガ減リマシタ、其點ニ付テ考へマスナラバ、單純ニナルト思フノデアリマス、通行稅醬油稅自家用醬油稅賣樂稅ト云フヤウナモノガ減タノデアリマス、是レ迄ヨリハ幾分カ單純ニ至ラモノデアラウトス様ニ思テ居リマス

○委員長(子爵前田利定君)　ドウカ繪ケテ
願ヒマス
○男爵藤村義朗君　租稅ノ免稅點ト云フコ
トニ付テチヨット伺ヒタイト思ヒマス、ド
ウモ此租稅ヲ普遍的ニ萬遍ナク賦課スル、
或ハ是ハ民衆化ト云フカモ知レマセヌガ、
詰リ普遍的ニ課稅スルト云フコトガ、私ハ
租稅トシテ原則デヤナイカト思フノデアリ
マスガ、ドウ云フコトデスカト云フト、此
免稅點ハ高クスルヨリモ低クスル方ガ宜イ、
免稅點ハ無イ方ガ寧口私ハ宜イト思フ、ド
ウモ免稅點ヲ置イタリ、或ハ之ヲ高クスル
ト云フコトハ、國民トシテノ義務觀念ヲ消
耗サセルモノデハナイカ知ラヌト思フ、普運
選舉モ實行サレルヤウニナリマシテ、參政
權ノ權利ヲ一千三百万ノ國民ガ得テ居ル、
併ナガラサウ云フ風ニ參政權ガ擴張サレタ
ニ拘ハラズ、納稅義務ノ方ハ段々負擔ヲ免
レテ來テ居ル、是ハドウモ幾ラデモ負擔ス
ルノガ國民トシテハ私ハ當然ノ義務デハナ
イカ知ラヌト思フ、勿論此社會政策ノ方カ
ラ申シマシテ、高ク取ルト云フコトハ宜シ
クナイ、幾ラデモ五厘デモ一錢デモ取ルト
云フコトニシテ、詰リ國民ニ納稅ノ義務觀
念ト云フモノヲ與ヘ夕方ガ私ハ宜クハナイ
カト思フ、今度ノ改正デモ大分免稅點ガ新
ニ出來タリ、高メラレタリスルト云フヤ
ウナコトハ私ハ宜シクナイト思フノデア
ル、尤モ徵稅ノ爲ニ是ガ非常ニ煩瑣ニナル
安イ僅カバカリノ何ヲ徵收スルト云フコト
ハ煩瑣ニナルト云フ嫌ヒハアリマスガ、併
ナガラ是ニ付テハ相當ナ便法ナドガ設ケラ
レテ、詰リ國民ヲ罪人視セズシテ、申告ニ
依テドンドン納稅サセルト云フヤウナ方
法モ採レルノデハナイカ知ラヌト、素人考
ヘニ考ヘルノデアリマスガ、ノミナラズ今
回ノ地租ニ免稅點ヲ設ケルト云フヤウナコ

トモ、假令免稅點ハ宜イト致シマシタ所ガ、何故ニ免稅點ヲ設ケルカト云フコトガ、矢張リ納稅者ノ負擔力ガ非常ニ弱イトカ或リ其納稅者ト云フ人ガ本位デアラウト思ヒ、マス、併ナガラ今回ノ地租課稅ノ目的ハ、地主ニ負擔力ガアッテモナクテモ、詰リ二百圓以下ハ免稅スルト云フコトデスト、詰リ物ニ對シテ免稅點ヲ設ケルト云フコトニナッテ、少々不合理ノヤウニモ考ヘル、此コトニ付テハ或ハ地租ノ方ニ參リマシタ時ニ更ニ伺フカモ知レマセヌガ、序デデスカラチヨツテ伺シテ置キタインデス

○國務大臣(濱口雄幸君)　租稅ノ免稅點ヲ設クルノハ宜シクナイ、假令小額ノモノデモ全部是ハ廣ク取ルベキモノデアルト云フ所ノ御議論ハ確カニ一ノ御議論デアルト思ヒマス、併ナガラ此度ノ稅制整理ヲ行フ時ニ當リマシテハ、單リ租稅ノ民衆化ト云フコトヲ考ヘタノミナラズ、此總テノ社會狀態、經濟狀態カラ考ヘ、又現在ノ有様カラ多少將來ノコト迄考ヘマシテ、免稅點ヲ或ルモノハ設ケ、或ルモノハ引上ダタ次第アリマス、若シ免稅點ヲ設ケナイト思テ居リマス、ノミナラズ只今御説明デアリマシタ和稅ノ徵收事務ノ簡便ト云フ點カラ申シマシテモ非常ニ違ヒガアルコトト思ヒマス、但シ免稅點ヲ地租ニ設ケマシテ、又所得稅ノ免稅點ヲ引上ダタト云フノハ徵稅事務ヲ簡便ナラシムルト云フ趣意デアリマスカ、是ハ殊ニ中產階級、中產階級ノ下層ニ位シテ居ル者ノ負擔ヲ輕減シテ、其利益ヲ増進スルト云フ點カラ免稅點ヲ設ケタリ或ハ引上ダタリシタ次第アリマス、是ハ各種ノ事情ヲ綜

行^シタ所ノ免稅點ヲアルノアリマス、御承知ノ通り自作農ハ段々減^テ參リマシテ、多クハ土地ノ兼併ノ爲ニ大地主、中以上ノ地主ノ小作人トナリ、サウシテ小作人ノ數ガ殖エマシテ、農村ニ於ケル社會組織ノ分割ハ大地主對小作人、斯^キ云フ關係ニラムトスル傾向ガ歷然タルモノガアルダラウト思ヒマス、若シ自作農ガ段々減少イタシマシテ、大地主カ然ラズンバ小作人ト云フ兩者が相對立スルト云フ現象ヲ呈シマスト、或ハ種々ノ社會上忌ムベキ現象ガ起ルダラウト思ヒマス、ソレヲ防ギマシテ農村ノ社會組織ヲ完全ニスル爲ニ、將ニ減少シ行カムトスル所ノ自作農ヲ維持イタシ、又出來得ベクンバ之ヲ創設イタシテ、ソレニ依テ農村ノ社會組織ヲ、大地主、自作農、小作人、此三段ニ分ケルト云フコトガ、總テノ點ニ於テ必要デアルト考ヘマス、其目的ヲ達シマス所ノ一ツノ政策ノ一端トシテ此免稅點ヲ設定シタ次第アリマス、而シテ免稅點ノ設定ニ依テ國民ノ義務ノ觀念ガ或ハ消磨シハシナイカト云フ御疑念ノヤウデアリマス、一方ニ普通選舉ガ施行サレテ権利ヲ得ル、免稅點以下ニ依テ義務ヲ免レルト云フコトニナルト、義務觀念ガ無クナ^シテ権利思想ノミ發達スルデハナイカト云フ御疑ノヤウデアリマシタガ、別ニ私ハサウ云フヤウナ心配ハナイモノデアラウト考ヘテ居リマス、教育ノ進歩、總アノ進歩ニ依リマシテ國民ノ義務觀念ハ、權利觀念ト同時ニ是ハ發達シテ居ルノデアリマス、稅ヲ納メセヌデモ國民ハ、兵役ノ義務ハ何人モ之ヲ負擔ヲ致シテ居ル、斯^キ云フ現狀ノ下ニ於キマシテ、租稅ニ多少ノ免稅點ヲ設ケル、響ハナイト思ヒマス、ノミナラズ稅ヲ納メ又多少ノ程度ノ免稅點ノ引上げ^シ行ヒマシ

○男爵藤村義朗君 私ハ其外過日本會議質問申上ダマシタ衆議院ノ修正ニ付テ尙少同ヒタ伊事ガアルデス、併シ是ハ地租條例ノ時ニナリマシテカラ少シ細カク同ヒタイ、其外ニモ各法律案ノ審議サレマス時ニ質問シタイト思ヒマス、一應打切ッテ置キマス

○政府委員(黒田英雄君) 先程御尋ニナリマシタ徵稅費ガドレ位カ、テ居ルカトニフ御尋ニ對シテ御答ヘ申上ダマスガ、十五年度ノ豫算ト致シマシテハ、市町村交付金ヲ除キマスト云フト千百三十四万圓ニ成ツテ居リマス、市町村交付金ガ七百四十九萬圓其外ニアル譯デアリマス、ソレカラ序ニ先程御尋ニナリマシタ徵稅事務ヲ簡便ニスルコトニ付テ考慮イタシテ居ルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、之ニ付テ簡單ニ御答ヲ申上ダマスガ、徵稅事務ハ成ルベクト、矢張リ十分ナ徹底シタ簡便ナル方法ヲルノデアリマス、何分是ハ納稅者ノ納稅ノ觀念ト云フモノガ進ンデ參リマセヌト云フモノデアリマス、第一所得稅ニ付キマシテ、所稅ノ成ルベク申告ヲ多クシテ戴キタイ希希望テ以テマシテ、イツモ申告時期ニ於キマシテハ、イロ／＼ナ所得ニ付テノ計算ガ違テハイロ／＼宣傳モ致シテ居リマスガ、申告ヲ致シマスノニ第三種ノ申告ニ付キマシテハ、イロ／＼ナ所得ニ付テノ計算ガ違テモアリマス、例ヘバ田畠ニ付キマシテハ前三箇年ノ平均ト云フモノヲ出サナケレバナラヌ、前三箇年間ノ所得ヲ出シテ、ソレ

ヲ平均スルト云フコトハ、非常ニ是ハ申告者ニ取リマシテ困難ナ仕事デアリマス、サ

ウ云フ風ナ關係カラ致シマシテ、又其他ノ

所得稅ニ付テイロ～ノ算出ノ方法ガア

ル、或モノハ前年四月カラ三月マデト云フ

ヤウニイロ～違テ居リマスノデ、申告ヲ

致シマスルノニ非常ニ手數ガカヽル、成ル

ベク之ヲ簡單ニシタイト考ヘマシテ、大體

ニ於テ前年ノ實蹟ニ依ルト云フコトニ致シ

タノデアリマス、ソレ故ニ田畠ノ所得ニ付

キマシテハ前三箇年ト云フコトヲ止メマシ

テ、前年ニ於ケル實蹟ヲ見マシテ申告スル

ト云フコトニ致シマシテ、大體暦年ノ所得

ニ改メタノデアリマス、唯俸給給料…俸

給給料デハアリマセヌ賞與デアルトカ、配

當トカ云フモノニ付キマシテハ之ヲ暦年ニ

直シマスト其爲ニ施行初年度ニ於キマシテ

三箇月間ト云フモノハ重複スル虞ヲ除カナ

ケレバナラヌ、其結果トシテ約千万圓云フ

影響ヲ及ボスノデアリマスカラ、是ハ已ム

ヲ得メ暦年ニ依リマセヌデ三月ヨリ二月ト

云フコトニ改メテ居リマスガ、大體ニ於テ

付キマシテモ是ハ現行法ニ於キマシテハ

同居家族ガ多勢居リマス場合ニ於キマシテ

ハ其所得ニ按分スル、非常ニ徵稅上手數ガ

カヽルノデアリマス、之ヲ命令ノ定ムル所

ニ依リマシテ納稅義務者ノ一人カラ取ツテ

モ宜シイ、或ハ數人カラ取ツテモ宜シイト

云フコトニ十六條ノ三項ヲ改メマシタノモ、

是ハ徵稅上ノ手數ヲ成ルベク省キタイト云

フ趣旨カラ出テ居リマス、ソレカラ同族會

而モ其目的ヲ達シタイト云フ趣旨カラ改メ

マシタノデアリマス、ソレカラ酒造稅ニ付

テハ是ハ大藏大臣ノ御話ニナリマシタ通

リ、酒造組合ヲシテ徵稅事務ヲ補助イタサ

セマシテ、其組合ニ對シマシテ交付金ヲ交

付スルト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、

是モ酒造稅ノ徵稅事務ヲ成ルベク簡易ニシ

テ、迅速ニ運ビマスルヤウニ、酒造組合ヲ

シテイロ～設備ヲサセテ、協力モ致サセ

マシテ、ソレ故ニ酒造組合ハ相當經費ヲ要

スルノデアリマスカラ、其一部ヲ補助スル

意味ヲ以チマシテ交付金ヲ交付スルト云フ

コトモ、徵稅事務ヲ成ルベク簡便ニシタイ、

ソレカラ所得稅營業収益稅ニ付キマシテ調

査委員會ヲ…現今ニ於テハ調查委員會カ

二ツアリマシテ、一年ニ二回開キ、イロイ

ロ手數ヲ要スルノデアリマスガ、是モ一ツ

ニ致シマシテ、所得稅調查委員會ヲ兩方ニ

利用スルト云フコトニ致シマシタノモ、成

ルベク手數ヲ簡單ニシタイト云フ趣旨デア

ト存ジテ居リマシタ、所ガ其最初御出シニ

ナツタ案ニ依リマスト一市町村内デ田畠ニ

百圓未滿ノモノヲ免稅シテ下サルト云

フコトニナリマシタノデ、非常ニ結構ナコト

ト存ジテ居リマシタ、所ガ其最初御出シニ

ナツタ案ニ依リマスト一市町村内デ田畠ニ

百圓未滿ノモノヲ免稅シテ下サルト云

○男爵阪谷芳郎君 宜シウゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ山田

君

我ニ農業者ガ年來自作農創定維持ト云フコ

トヲ盛ンニ唱ヘテ居リマスガ、本年政府ハ地

價二百圓未滿ノモノヲ免稅シテ下サルト云

フコトニナリマシタノデ、非常ニ結構ナコト

ト存ジテ居リマシタ、所ガ其最初御出シニ

ナツタ案ニ依リマスト一市町村内デ田畠ニ

百圓未滿ノ免稅ヲナサルト云フヤウニナッ

テ居ツタノガ、其後本黨トノ妥協ノ結果隣接

町村ニ土地ヲ所有シテ居ルモノヲ加ヘ、其

後自作農ヲ御加ヘニナツタト云フコトデア

リマス、サウ直リマスト假リニ茲三百九十

五圓ノ地價ヲ有ツテ居ツタモノガ隣村ニ僅カ

一圓カ或ハ一圓五十錢位ナ地價ノ土地ヲ

リマス、サウ直リマスト假リニ茲三百九十

五圓ノ地價ヲ有ツテ居ツタモノガ隣村ニ僅カ

一圓カ或ハ一圓五十錢位ナ地價ノ土地ヲ

リマス、サウ直リマスト假リニ茲三百九十

五圓ノ地價ヲ有ツテ居ツタモノガ隣村ニ僅カ

一圓カ或ハ一圓五十錢位ナ地價ノ土地ヲ

リマス、サウ直リマスト假リニ茲三百九十

五圓ノ地價ヲ有ツテ居ツタモノガ隣村ニ僅カ

一圓カ或ハ一圓五十錢位ナ地價ノ土地ヲ

リマス、サウ直リマスト假リニ茲三百九十

五圓ノ地價ヲ有ツテ居ツタモノガ隣村ニ僅カ

ノ土地ト申シマスモノハ井戸一ツ溝一ツヲ

置キマシテモ地價が決マルノデアリマス、

ソレハ何ニ依ツテ違フカト云フト、地理ノ

關係ニ依リテ又種々ナル關係ニ依ツテ違フ

居ルノデアリマスカラ、大字トカ或ハ小サ

イ所ノ字ノ中ニ於テモ地價ニ大分等級ガア

ル、其繁雜ナルモノヲ一年カ一年半位ノ期

間ヲ以テ調査ヲシ、サウシテ賃貸價格デ御

決メニナルト云フコトハ、到底私ハ不可能

デハナイカ、ソレガ果シテ御出來ニナルト

云フ御見込デアルカ、之ヲ承リタイ、ソレカ

テモウーツ承リタイノハ賣藥稅デアリマ

ス、此賣藥稅ハ先頃來政府ノ御説明ニ依リ

マスト、賣藥稅ヲ廢スルト云フコトハ山間

僻地ニ居ル所ノ者ガ醫者ニ付クコトモ出來

スカラ困ル、デアルカラ社會政策ノ見地カ

マスト、賣藥稅ヲ廢シタト、斯様ニ承リテ居ルノ

デアリマス、所ガ實際ノ狀況ヲ見マスト決

シテ左様デハアリマセヌ、寧ロ私ハ賣藥稅

ト云フモノハ廢スル必要ハナイト思フ、我ニ

デアリマス、所ガ實際ノ狀況ヲ見マスト決

シテ左様デハアリマセヌ、寧ロ私ハ賣藥稅

ト云フモノハ殆ド寥々タルモノ、今日ハ町

村ノ山間僻地ニ至ルマデ醫者ガ行届イテ居

リマス、サウシテ或方面カラ言フト、醫藥

ト云フモノハ殆ド寥々タルモノ、今日ハ町

村ノ山間僻地ニ至ルマデ醫者ガ行届イテ居

リマス、サウシテ或方面カラ言フト、醫藥

デアラウト思フ、必ズ元ノ十五錢ニ上ダル、左様デアレバ通行稅ヲ免ズルト云フコトハ無意義デアル、モウ一ツ御尋ネシタイコトハ煙草ノ稅デアリマス、煙草ノ稅ハ先程藤村男爵カラモ御尋ネガアリマシタガ、是ハ今日ハ農村ノ農業家ノ嗜好品デハ決シテナイト思ヒマス、生活必需品ノ中ニ入レテモ宜シイト思フ、何故カト申シマスト、仕事ヲシテ先ソ一服ト云フテ直グ煙草ヲノム、煙草ヲ飲マムガ爲ニ努力シテ居ルト云フモノモ差支ヘナカラウ、ソレニモ拘ラズ今日ハ今回約二百万圓ニ垂々トスル稅ヲ上ダルト云フコトハ、我ミ農村ノ者ノ非常ナ苦痛デアル、然ルニ昨年度ノ大正十四年度ノ調べニ依リマスト、二億四千圓トナツテ居ルニ拘ラズ、政府ノ收入ハ二億一千五十万圓ト云フヤウニナツテ居リマス、現在二千二百七十七万圓デアリマスガ、ドウモソレガ實ニ私ハ不可解デアリマス、モウ一ツハ酒ノ稅金デアリマス、酒ノ稅金モ煙草ト同ジク生活ノ必需品ト見テモ私ハ差支ヘナイト思フ、晚ノ一杯ヲ飲マウト思フ爲ニ、朝ハ星ヲ戴イテ外ニ出ル、或ハ田圃ニ出テ仕事ヲスルト云フヤウニシテ、晚ニ歸テ來テ一杯ノ酒ヲ非常ニ樂ム、ソレラノ者ガ相稅ヲ上グラレルト云フコトハ非常ナ苦痛デハナイカ、煙草ニ付テ考ヘテ見マシテモ一年ニ一人當デ約七八圓カラ十圓位ノ增稅ニナル、酒ニ付テモ亦然リト云フヤウナ考ヲ持ツノデアリマス、サウスルト農家ノ社會政策ノシテ餘リ必要ノナイ所ノ賣樂稅トカ或ハ通行稅ト云フモノノ廢スルト云フコトノ意味ガ分ラヌノデアリマス、此點ニ付テ承リタ

○國務大臣（濱口雄幸君） 御答ヲ申上ダ
スガ、第一ハ地租ノ免稅點タル所ノ田畠ノ
地價二百圓ト云フモノヲ、納稅者ノ住所地
タル所ノ市町村ニ限ルト云フ原案デアッタ
モノヲ、衆議院ノ修正ニ依シテ、隣接市町
村ノ分マデモ、合算ヲスルト云フコトニナッ
タ結果、茲ニ社會政策ニ反スル結果ニナル
デハナイカ、例ヘバ自分ノ住所地ニ於テ
ハ、百九十五圓ノ田畠ヲ持シテ其隣村ニ六
圓ノ田畠ヲ持シテ居ル場合ニ於テハ、若シ
政府ノ原案ノ如クスレバ、百九十五圓ハ二
百圓未満デアルカラ、免稅ニナルト云フ所
ヲ、隣接ノ市町村ト合算スルト云フ衆議院
ノ修正案ニ依レバ合算ノ金額二百一圓ニナ
ル故ヲ以テ、是ハ免稅ニナラヌト云フ結果
ニナル、斯ウ云フ御質問デアッタヤウデア
リマス、ソレハ左様ナ場合モ生ズルト思ヒ
マス、ケレドモ其反對ノ場合、即チ隣接市
町村ノ分マデ合算スルト云フ結果ハ、政府
ノ原案ニ對シマシテ納稅者ガ免稅ヲ受クル
場合カ減ル場合ト、又免稅ヲ受クル點ガ殖
エルト云フ場合ト、兩方ノ場合ガアラウト
思ヒマス、此殖エル場合ヲ申シマスト云フ
ト、例ヘバ自分ノ居村ニ於テハ九十圓ノ田
畠ヲ持シテ居ル、其隣リノ村ニ於テ同ジク
九十圓ノ田畠ヲ持シテ居ル、合計シマスト云
ト云フト百八十圓デアリマス、若シ政府ノ原案
ノ通リニ致シマスト云フト、自分ノ居村ニ
レマス、所ガ此度ノ修正案ニ依リマスル
ト、兩方合シテ百八十圓デアリマスカラ、
二百圓未満トシテ居ル所ノ九十圓ノ分ハ取ラ
云フ結果ニナル、是ハ甲ノ村ト乙ノ村トノ
境ニ近ク住シテ居ル所ノ自作農ニ於テ往々
サウ云フコトガアルノデアリマス、甲乙兩
村ノ境ニ住シテ居ル、甲乙兩村ニ跨テ二

百圓未満ノ田畠ヲ持テ居ル、政府ノ原案ニ依レバ、其一方シカ免稅サレナイ、修正案ニ依レバ全部ガ免稅サレルト云フコトニナリマスカラ、隣接町村ノ土地ヲ加ヘマスト云フコトガ、納稅者ノ結局幸福デアルカ或ハ損失デアルカト云フコトハ容易ニ判断ガ出來ナイト思ヒマスガ、大體ニ於テ却テ免稅サレル場合ガ多クナッタノデハナイカト政府ハ考ヘテ居ル位デアリマス、決シテ此修正ノ爲ニ政府ノ原案ノ場合ヨリモ免稅ヲ受クルコトガ少クナッタハ考ヘテ居リカラ第二ハ大正十七年カラ政府ハ賃貸價格ニ依テ地租ヲ取ルト云フコトニ地租條令又、兩方ノ場合ガアラウト思ヒマス、ソレカリ經テ七百万圓バカリノ金ヲ使テ、賃貸價格ノ調査ヲスルト云フコトデアルガ、其事業ガ短期間ニ出來ルダラウカト云フ御心配デアリマス、是ハ誠ニ御尤モナ御心配デアリマス、此賃貸價格ノ調査ハ誠ニ困難デアリマス、決シテ容易デアルトハ申シマセヌ、又ソレニ要ル所ノ經費モ相當ニ要リマス、唯今七百万圓ト云フ御話ガアリマシタガ、モウ少シチヨト掛ルデアラウト思ヒマス、此法律案並ニ追加豫算案ハ不日當院ニ廻シテ參リマスカラ、其時ニ於テ詳シク申上ダマスガ、大體ニ於テ政府ハ大正七年度カラ大正九年度ニ瓦リマシテ、三箇年ノ後續費ト致シマシテ賃貸價格ノ調査ニ付テ、全國ニ涉シテ一通り標準的ノ賃貸價格ノ調査ガ出來テ居ルノデアリマス、即チ各居リマス、其金額ハ百万圓カラデゴザイマス、年所ヲ要スルコトニ三箇年ニ涉リマシテ、全國ニ涉シテ一通り標準的ノ賃貸價格ノ調査ガ出來テ居ルノデアリマス、即チ各稅務署毎ニ此村、或ハ大字、或ハ小字デハ、此土地ノ即チ標準地ニナルモノデアラ

ウ、此土地ノ賃貸價格ヲ調べレバ、是ト狀況ヲ同シクスル所ノ、若クハ狀況ノ類似シテ居ル所ノ、此區域内ニ於テ、此賃貸價格ト其標準地ノ賃貸價格ト云フモノハ、大體ノ調べガ付テ居ルノデアリマスカラ、多少事情ハ違^ツテ居リマスケレドモ、其基本トナレルベキ所ノ調査ハ、一應出來テ居リマシテ、其調査ノ結果ニナ^ツタ所ノ書類ハ、皆當該稅務署ニ保存イタシテアリマス、十二年ノ震災ニ依^ツテ焼ケタモノモアリマスケレドモ、其震災地以外ニ於キマシテハ、當時ノ調査ガ總テ殘^リテ居リマス、其調査ヲ基本ト致シマシテ、更ニ精密ナル調査ヲ致シマスレバ、一年五箇月モ掛リマスト云フト、此調査ハ非常ニ困難デハアルガ、出來ルト云フ見込ハ確ニ立^ツテ居ルノデアリマス、尤モ唯今御詰ノ通り土地ノ狀況ト云フモノハ、一大字ニ依^ツテ總テ同ジモノニアリル、一小字ニ依^ツテ同ジモノデアルト云フ價ノ所ニナリマスルト、殆ンド一枚ノ田ニ於テモ、其價値ガ^三：價格ガ違フカモ知レ譯デハアリマセヌデ、一ツノ用水ヲ隔テレバ、自カラ利用ノ狀況モ違ヒマスシ、又單價ノ所ニナリマスルト、殆ンド一枚ノ田ニ分サレタル所ノ區域ニ於テ標準ニナル所ノ一筆ノ土地ヲ選定イタシマシテ、又區域ノ廣イ所ニ適用ノ出來ルモノハ、廣イ區域内ニ於テ一筆ノ標準ヲ選定イタシマシテ、其貨貸價格ニ依^ツテ金體ニ類推シテ行クト、斯^ウ云フ組織ニスル積リデアリマス、必ズケナイト云フ意味デハアリマセヌデ、其一大字ニ依^ツテ一箇所ノ標準地シカ設ケナリ、一小字ニ依^ツテ全體ニ類推シテ行クト、

其區域ヲ分割ヲ致シ、其分割セラレタル區域每ニ標準地ヲ設ケテ賃貸價格ヲ類推イタシテ行クト云フ、斯ウ云フ積リデアリマス、先年調ベマシタ方針モ、大體其方針デ出来テ居リマス、其書類ニ依テ、更ニ實地ニ付テ調査ヲスルコトガ出来マスカラ、是ダケノ調査ハ割合ニサウ手數ガ掛リマセヌノデ、一年五ヶ月モ掛リマシテ、サウシテ八百万圓ノ金ヲ使ヒマスレバ、大體調査ガハシ大體デハアリマセヌ正確ナル調査が出来ルト信ジテ居リマス、其次ニハ賣藥稅稿ノコトデアリマス、其次ニ又通行稅ノ御詰モアリマシタガ、賣藥稅ニ付テハ、今御詰ヲ承リマスト云フト、近來ハ地方ヘ參テモ醫者ガ十分ニ行渡テ居ルカラ、賣藥稿消費スル者ハ少ナイト云フ御詰デアリマス、サウ云フ所デハ別ニ賣藥稅ノ廢止ノ因澤モ受ケヌノデアリマスケレドモ、免ニ角全國ニ涉リマシテ、賣藥稅ノ收入ハ一千餘万圓ト云フ額ニ上ボッテ居リマシテ、國民ガ賣藥ヲ消費シテ居ルト云フ狀態ト云モノハ、案外ニ廣イノデアリマスカラ、廣ク行ハレテ居ルコトト見ナケレバナリマセヌ、然ラズンバ一千餘万圓ト云フ歲入ノ這に入リヤウガナインデアリマス、即チ賣藥ヲ消費セラレテ居ル所ノ地方ハ山間僻邑ノ住民デアル、或ハ醫者ノ遠イ所、或ハ醫者ノ近イ所デアリマシテモ、醫者ノ來ルマデノ間ノ應急的ノ治療ト致シマシテ、賣藥ヲ以テ一時ヲ凌グト云フコトモ、能クアリ得ルコトデアリマス、又山間僻邑デハゴザイマセヌ、平坦部ニ致シマシテモ、都會ニ致シマシテモ、貧困デアリマシテ、醫師ノ診療ヲ受クルコトノ出來ナイヤウナ細民ニ至リハ、是ハ生活必需品デハナイト云フモノ

メテ僅少デアリマスカラ、左マデ、是ハ憂
フルニ及バヌコトデアラウト思テ居リマ
ス、要スルニ通行税ハ大體ニ於テ其廢止
結果、ソレニ相當スル運賃ヲ引上ダムトス
ルモノガアリマシテモ、政府ノ認可權ニ
依テ之ヲ取締ルコトガ出來ルト云フコト
ニ、御了解ヲ願ヒタイ思ヒマス、次ニハ酒
煙草ニ付テノ御質問デアリマス、是ハ生活
ノ必要品ト見做スベキモノデルト云フ御意
見デアリマス、固ヨリ消費者モ其人ニ依テ
ハ殆ド必要品ニ近イ程度ニナツテ居ルモノ
モアラウト思ヒマスガ、併シ國民ノ消費ノ必
要品ト云フコトモアリマスガ、人ニ依テ
ト云フモノガ國民ノ生活ノ必需品デアルト
ハ、常識上考ヘラレヌノデス、習慣的ノ必
要品ト云フコトモアリマスガ、人ニ依テ
ハソレハ必要品ニナツテ居ラウト思ヒマス
ケレドモ、併シ全體論ト致シマシテハ、
是ハ何處マデモ生活ノ必需品デハナクシ
テ、嗜好品デアル、斯様ニ認メルベキモノ
デアラウト思ヒマス、之ヲ人間ノ通行ト云
フモノ、或ハ人間ガ織物ヲ必要トスル、其
程度ト比較シマスト、酒煙草ガ國民ノ生活
ニ對シテ有ツテ居ル所ノ地位ハ、是ハ比較的
輕イモノト私ハ思フ、通行ト云フ事柄、或
ハ著物ヲ著ルト云フ事柄ヨリハ酒ヲ飲ム、
煙草ヲ喫ムト云フコトハ其地位ガ輕イモノ
デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、無論比較
の話デアリマス、即チ概シテ是ハ生活ノ
嗜好品トシテ課稅ニ適スルモノト考ヘタ故
デアリマス

セヌカ、賣藥稅ヲ廢シマスルト、今迄賣藥
ハ大抵從價ノ割合ノ稅金ヲ拂ッテ居ッタノデ
アリマスガ、此賣藥稅ヲ廢シタ曉ニハ、愈
定ガ困難デヤナイカト思ヒマス、其邊ニ付
キマシテハドウ云フ考デアリマスカ
○國務大臣(濱口雄幸君) 賣藥稅ハ國民ニ
取シテ一種ノ負擔デアルト云フコトニ付キ
マシテハ、先刻申述ベテ置キマシタガ、唯
今ノ御質問ハ、通行稅ノ場合トハ違ヒマシ
テ、餘程困難ナ問題デアリマス、即チ賣藥
稅ヲ廢シマシタ結果、其廢シタダケノモノ
ガ消費者ノ利益ナリヤ、否ヤト云フ、斯ウ
云フ問題デアリマス、即チ賣藥ノ内容ガ能
ク分フテ居ナイ其結果トシテ賣藥商人ガソ
レダタ價格ヲ下ダナイ、從シテ消費者ノ苦
痛ハ賣藥稅廢止ノ結果少シモ減少シナイト
云フコトガアリハシナイカト云フ、御質問
デアリマスガ、是亦衆議院ニ於テ屢々起
マシタ所ノ疑問デアリマス、如何ニモ御尤
モナル點デアリマス、其場合ニ於キマシテ
ハ、何ト致シマシテモ是ハ當業者ノ自由競
争、昨日モ馬場君ノ御質問ニ仰答シタノ
デアリマスガ、當業者ノ自由競争ニ依シテ
印紙稅ノ無クナッタダケレダケ價格ヲ下
ゲル、價格ヲ下ゲルコトハ値頃ノ關係上困
難ノ場合ニハ或ハ其實藥ノ量ヲ殖ヤシマス
カ、品質ヲ良クシマスカ何方カ致シマシテ
結局其利益ハ消費者ノ方ニ大體ニ於テ歸ス
ルモノニアラウト政府ハ考ヘテ居リマス、
要スルニ印紙稅ノ無クナルダケソレダケ賣
藥ノ製產費ガ廉クナレバ、當業者ニ於テ競
争スル範圍ガ廣クナル譯デアリマスカラ、
其自由競争ノ結果ニ依シテ下ガルモノニア
ル、左様ニ考ヘテ居リマス
○山田恵一君 モウツ御尋シタイト思ヒ
マス、自作農創定ニ付キマシテ、我ニ農業

者ノ方面カラ田畠一町歩ト云フコトヲ屢々
政府ニ嘆願ヲ致シテ居リマス、是ガ二百圓
ト云フモノニナツテ居リマスノハ殆ド其一
町歩ニ當ラヌト云フ考デアリマスガ、其邊
ヲ…

○國務大臣(濱口雄幸君) 地價二百圓ト申
シマスノハ、全國ノ平均デ計算致シマスレ
バ田ノミノ場合ニ於テハ凡ソ六段歩、ソレ
カラ畠ノミノ場合デアリマスト二町三段歩
位ニ當ルヤウデアリマス、平均致シマスト
約一町歩、少シ一町歩ガ切レマスガ大體一
町歩ト御承知ヲ願ツテ宜シイノデアリマス
○男爵阪谷芳郎君 此度ノ政府ノ稅制整理
法案ハ衆議院デ修正ニナツタノデゴザイマ
スカラ、過日本議場デ以テ私ガ質問致シタ
中ニ主義ハ壞レタヤウニ思ハレル、サスレ
バ成ルベク整理案其モノヨリ良クスルト
云フ修正ニハ政府ハ御同意ニナツスルモノ宜イ
ト私ハ思フ、衆議院モ亦隨分議論ノアツタ
カラ衆議院ニ廻シタラ同意ヲスルモノデハ
ナイカト思フ、即チ衆議院デハ手ヲ著ケナ
イデ完全ニ出來テ居ルモノヲ貴族院ガ修正
ヲ加ヘルト云フコトハ何トナク其處ニ感情
ノ相違ガ出來テ來ルト云フコトニナルケレ
ドモ、此衆議院ガ隨分手酷イ、殆ンド政府
ノ主義ヲ滅却シタト思フ地租ノ一分減ト云
フコトト、義務教育費ヲ増スト云フコトハ
九デ意味ガ違タ話デアリマス、是ガ同ジ
意味ダト云フコトハドウシテモ辯護ガ出
來ヌ、歲出ト歲入ノ相違ガアル、ソコデ稅
本利子稅トカ、營業稅ノ收益稅ノ率其モノ
ガ端的ニ言ヘバ率其モノガ高イ、今日本ノ
國家ノ政策トシテ何ガ最モ必要デアルカト

言ヘバ、輸入ノ超過ヲ防ギ、金貨ノ解禁ヲ
速カニスル、即チ爲替ノ直段ヲ回復スル、
ト云フモノニナツテ居リマスノハ殆ド其一
町歩ニ當ラヌト云フ考デアリマスガ、其邊
ヲ…

却テ日本ノ爲替ト云フモノハ一番、一番
モノモアルケレドモ、ソレ等トハ比較ニハ
ナリマセヌケレドモ、免ニ角爲替ガ三十八
弗迄下タ、ソレガ現内閣諸公ノ御盡力ニ
依テ大分回復シテ來テ、四十五弗ニナツタ、
誰カ見テモソレガ一番ノ急務ニ屬スルシ、
又現内閣ガソレニ向シテ力ヲ盡シテ居ラレ
ルノデアル、然ラバ商工業者ヲ苦メルコト
ヲドウシテモ緩メナケレバ出來ヤシナイ、
商工業者ヲ苦メルコトヲ緩メルガ爲ニ折角
収益稅ヲ御提出ニナツタコト、思フ、然ル
ニ又資本利子稅ト云フモノヲ其所ヘ持テ
行フテ、是モ或ル時機ニハ宜イ稅カモ知レ
ヌケレドモ、今日最モ銀行ナリ、商工業者
ガ苦痛ヲ減ジテ居ル所ヘ何トナク商工業者
ガ詰リ銀行ノ資本ヲ驅逐スルヤウナ稅ヲ御
出シニナルト云フコトハ甚面白カラヌ、
歲計モアルヤウデアリマスガ、大經論モア
ルヤウデアリマスガ、大經論ハ悉ク措イテ
一番今急務トスル所ハ日本ノ經濟狀態ノ回
復ト云フコトニアル、即チ是ハ日本ノ生存
問題デアルト思フ、然ルニ其所ヘ資本利子
ト云フヤウナモノヲ出セバ、理窟ハ宜イ稅
カ知ラヌケレドモ、甚ダ實際ニ困ルノ、殊
ニ理窟モ餘リ宜イコトハ言ヘヌカモ知レ
ナシ、近來日本ハ免角歐米ノ眞似ヲスルコ
トガ習慣ニナツテ御手本ヲ歐米ニ取ルノデ
アリマスガ、近來歐米ノ稅ト云フモノハ戰
爭中ニモ極メテ困難シテ惡稅中ノ惡稅迄課

シタ、ソレヲ出張官吏ガ視テ來テ、日本ノ
所得稅ハ輕イトカ、斯ウ云フ稅モアルト云
フヤウナ筆法デ、詰リ餘り種子ヲ土地ニ相
應スルカセヌカト云フコトヲ擇ハズニ採ル
ト云フ嫌ヒガアル、例ヘバ清涼飲料稅ノ如
キモ是モ戰時中ニ課ケテ、而モ今ハ廢ノメ
シアルノデアル、戰爭後ニ於テ資本ニ稅ヲ
課スルト云フコトハ大變議論ガアツテ、廢
メムトシツハアル、戰時所得稅ノ如キモ亦
然リ、向フノ困リ切タ所ノ手本ヲ取シテ來
テ日本ノ困ラヌデモ宜イ所ヘ持シテ來テ植
付ケヌデモ宜カラツト思フ、殊ニ其感ヲ深
フスルノハ通行稅デアル、通行稅ト云フモ
ノハ會社ナドガ何ト云シタテ政府ガ其認可
權ヲ有シテ仰シヤツタ所ガ自然ニドウシテ
モ貨銀ヲ上げナケレバナラヌ時機ガ來ル、
其時ニ上ダナカッタラ郵船會社デモ商會
社デモ、田舎ノ輕便鐵道モ漸レテ仕舞フ、
ソレハ通行稅ダ、斯ウ云フコトニナツテ是
ハ會社ガ通行稅ガ輕減ニナツタノ利益ス
ル爲ニ上ダルノカ、自然ノ必要カラ上ダル
ノカ區別ノ付ケヤウガナイ、或ハ配當ノ方
ヲ見テ抑ヘルト云フカ知ラヌガ、併ナガラ
スクノ如クニシテ政府ガ商工業ニ干渉スル
ト云フヤウナコトハ宜シクナイト私ハ思フ
商工業ハ成ルベク自由ニシテ置カナケレバ
ナラヌ、無論不當ナ貨錢ヲ取ラヌヤウニハ
シナケレバナラヌケレドモ、商工業ノコトニ
餘リ政府ガ干涉スルノ端ヲ啓クト云フコト
ハ宜シクナイ、ソレデアルカラ何ヲ苦シ
ニテ通行稅ヲ廢シテ資本利子稅ヲ設ケタト云
ト云フヤウナモノヲ出セバ、理窟ハ宜イ稅
カ知ラヌケレドモ、甚ダ實際ニ困ルノ、殊
ニ理窟モ餘リ宜イコトハ言ヘヌカモ知レ
ナシ、近來日本ハ免角歐米ノ眞似ヲスルコ
トガ習慣ニナツテ御手本ヲ歐米ニ取ルノデ
アリマスガ、近來歐米ノ稅ト云フモノハ戰
爭中ニモ極メテ困難シテ惡稅中ノ惡稅迄課

シタ、ソレヲ出張官吏ガ視テ來テ、日本ノ
所得稅ハ輕イトカ、斯ウ云フ稅モアルト云
ベテ見マシタ、是ハ算盤ノ達者ナ御方デ連
モ我ニハ敵ハヌ位デスガ、餘程調ベテ見ル
ト、十四年ノ下半期ノ決算ニ合セテ見レバ
モウ八百ナンボモ殖エル、即チ現在政府ニ
モナメテ居ル稅ヨリ今度ノ稅法ニ依シテ
決算ニ依シテ見ルト直ゲ出ル、此差ガ何デ
モ政府ノト商業會議所ノ調ベトハ、一千二
百万圓カ三百萬圓ノ差ガアル、ソレカラ此
歩合ヲ採ツテ…會社ニ付テ是ダケヲ増ス
ト云フ其歩合ヲ取シテ假リニ之ヲ個人ニ掛
ケテ見ルト正確ニハ行キマセヌ、個人ハ會
社ノ如クニ決算表ヲ出シテ居ラヌカラ判ラ
ヌガ、矢張リ下半期ニ殖エタノデ會社ノ確
カナル殖エ方ノ歩合ニ掛ケテ見レバ、即チ
個人ノ殖工方ガ判ル、サウスルト双方デ三
千萬圓、三千万圓殖エルト云フコトニナツ
ト非常ニ損ヲシタ不利益ナモノガ稅ヲ免レ
テ、働イテ居ル方ノ良イ會社ニ負擔ガタン
ト行クカラ働イテ居ルヤウナ良イ會社ハウ
ント負擔ヲシテモ宜シイナヤナイカト云フ
ト云フヤウナコトハ宜シクナイト私ハ思フ
營業者ガ輕クナルト思シテ居タノガ重クナ
ルト云フコトハ、是ハ論ヲ俟タヌヤウニ思
フノデアリマス、是ハドウシテモ此營業稅
理窟ハアルケレドモ、重クナルト云フ
ハ決シテ當業者ノ苦痛ニハナラナイ、四百
万位モ減ジテ居ルノダカラ、是ハ當業者ハ
樂ニナルト云フコトハ、是ハ餘程言ヒニク
イデヤナイカ、今現ニ先刻馬場サンカラノ
御尋ネノ信託會社、丁度私ノ所ヘモ信託會
社ノ米山君ヤ何カガ來テ計算ニ依ルト稅ガ
十倍ニナル、十倍ニナルト云フコトハ今マ
デ補償デ取ラレテ居タノガ、收益デ取ラ
レルト十倍ニナル、ソレハ十倍拂フダケノ
力ガアルカラ宣イト云ヘバ言ヘルノデアル
ガ、チヨット常識カラ考ヘテ見ルト、十倍
ノ稅ガ増スト云フコトハ、是ハ餘程困タ

コトニナリハシナイカト思フノデス、米山君ハ信託會社協會ヲ代表シテ、皆立派ナ人アルカラ、是等ノ人ハ苟モ稅ヲ免レヤウト云フヤウナ精神ハナイ、皆人格ノアル人デアル、サウ云フヤウナコトヲ以テ見ルト、此營業稅ト云フモノハ、折角多年ノ問題ヲ解決シヤウト云ノガ解決ニナラヌ、以前ノ稅法ヲ置イ夕方ガ有難イコトニナリハセヌカト私ハ感ズルノデアリマス、ソコデ營業稅デモ相當ノ修正ヲ加ヘテ、資本利子稅ヲヤメテ通行稅ヲ残ス、ソレデ清料飲料水ノ如キモノモ、是マデ稅ヲ取ルト云フコトモ僅カ三百万圓ノ爲ニ「ラムネ」ノ稅ヲ取ル、ドウシテ取ルカト言フト、瓦斯ノ量デ取ル、瓦斯ノ量ハドウシテ調ベル、個人ノ店へ行ッテ亭主ガ禪一ツデ小僧ヲ相手ニ「ラムネ」ヲ持ヘテ居ル、ソレヲ一ヒ瓦斯ノ量ヲ調ベル、是ハ殆ド不可能ノコトノヤウニ思フノデスガ、ドウ云フ考デ稅ヲ取ラレルノカ、ソレハ「シトロン」ノヤウナモノハ取レマセウ、ソレハ堂々タル工場ヲ持テ居ルカラ、又大キナ生産ヲシテ居ルカラ宜シイトシテモ、亭主ガ禪一ツデ「ラムネ」ヲ持ヘテ居ル、其瓦斯量ヲ調ベテ取ルト云フコトハ大層ナ手數ヲ掛けナケレバ取レヌダラウト私ハ思フノデアリマスガ、ソレデサウ云フヤウナ國稅トシテ不適當ナル而モ面倒ナ清涼飲料水ノ如キモノハヤメテ仕舞フ、圓ノ營業稅ダラウト思フ、其三四百万圓ノ惡イケレドモ、今新タニ四百万圓バカリノ營業稅ハ國庫豫備金ハ千四百万圓積ッテアルカラ、假リニドウセ國庫豫備金ト云フモノハ毎年足リナイ、足リナイ序ト云フノハ解决シテ、政府ガ財源ニ困ルト云フコトニ

ナツテハイカヌカラ、歳出ノ上デ國庫豫備
金千四百万圓ノ中カラ四百万圓バカリヲ減
ラスト云フト政府ノ計算ト同ジコトニナリ、
完全ナル稅制整理ニナリハシナイカ、苦情
モ少クナルシ、私ガ皆様ノ御質問ヲ聽イテ、
又過日來阪本君ノ本會議デノ質問モ皆新ラ
シイ稅ニ付テ大分苦情ガアル、收益稅ニ付
テモ苦情ガ多イヤウデアリマスガ、其稅制
整理ト云フコトハ畢竟スルニ政府ノ説明ノ
如クニ、收入ヲ増ス譯デモナイ、減ス譯デ
モナイ、苦痛ヲ除クト云フコトデアル、苦
痛ヲ除クノデアルナラバ、最モ國民ガ苦痛
ヲ訴ヘニヤウニシタラ宜シ、貴族院諸公
ハ餘り稅ノコトヤ何カニ御關係ノナイヤウ
ナ諸公ガ、矢張リ非常ニ苦痛ヲ訴ヘテ居
ノヲ見レバ、政府ガ今度御提出ニナフテ居
ル案ガ、歲入ハ減リモセヌ殖工モセヌデモ
苦痛ハ残ツテ居ルト云フコトハ、此稅制整
理ノ目的ヲ達セヌト云フコトニナル、私ハ
政府ニ於テ相當ナル修正……ドウ云フ修正
ガ出テ來ルカ別ラ又ケレドモ、其積リデ御
居ニナルコトガ最モ相當ナコトデヤナイン
カトスウ考ヘルノデアリマス、地租ノ問題
ニ付テハ、是ハ藤村男爵モ御論ノアルコト
デアルガ、私ハ地租ノ一分減ノ問題ハ、是
ハ稅制整理ノ問題ト違ヒマスカラ、是ハ其
時ニヨク御尋ネシマセウガ、先ヅ地租ニ
一分減問題ハ暫ク別ト致シマシテ、資本利
子稅或ハ營業收益稅、清涼飲料稅ト云フ
案ヨリ減ル譯デ、其代リニトハ仰シャラビ
シマス、大藏大臣ノ所見ハ如何デゴザリマ
スカ

ト思フカラ、ソレヲ存置スレバ稍、歳入ノ
増減ガ相當ル、即チ通行稅ヲ存置シ資本利
子稅ヲ見合セニスルカト云フコトガ第一ノ
御質問デアリマス、其御質問ノ前段ニ御述
タ事柄ニ付テハ、政府ニ於テハ全然御同感
ベニナリマシタ國際貸借改善、爲替ノ相場
ノ改正ト云フコトニ付テ御述ベニナリマシ
デアリマス、及バズ乍ラ努力致シテ居ル
積リデアリマスガ、此度ノ資本利子稅ノ創
設、其利子稅ノ稅率ガ若シ非常ニ高カッタ
ナラバ、ソレハ如何ニモ御説ノ通り資本ノ
蓄積ヲ妨ダラレマシテ、延イテ生産費ヲ高
カラシメルト云フ結果ヲ見ルデアリマセ
ウ、サウ云フモノハ政府トシテモ之ヲ實行
スルコトハ餘程考ヘモノデアラウト思フ、
此度ノ稅率ハ即チ百分ノ二位ノ程度デアリ
マシテ、サウ云フヤウナ惡イ結果ヲ資本ノ
蓄積ノ上ニモ、生産費ノ上ニモ及ボス心配
ハナイト思ツテ居リマス、或ハ百分・五ト
カ、百分ノ十ト云フコトニナリマスレバ、
ソレハ無論イケマセヌガ、百分ノ二ト云フ
極メテ輕微ナル稅率デアリマスカラ、此位
ノモノナラバ御心配ノ如キ弊害ハナカラウ
ト思ツテ居リマス、而シテ通行稅ヲ減シテ資
本利子稅ヲ見合ハスト云フコトニナリマス
ルト、金額ハ相當ルコトハ御説ノ通りデア
リマスガ、併ナガラ是ハ全ク納稅者ガ違フ
ノデアリマス、全然納稅者ノ社會的階級ガ
本利子稅ヲ見合ハスト云フコトニナリマス
ルト、金額ハ相當ルコトハ御説ノ通りデア
リマスガ、併ナガラ是ハ全ク納稅者ガ違フ
ノデアリマス、即チドッカト申シ
違ツテ居リマス、マア資本利子稅ヲ納メル者
ハ無論公債社債銀行預金、其利子ヲ所得ス
ル者ガ主デアリマス、即チドッカト申シ
マスレバ、中產階級以上ノ負擔ニナルト思
ヒマス、其場合ニ通行稅ヲ納メテ居リマス
ル者ハ是ハ中產階級モアリマセウガ、先づ
大體多數國民デアリマスカラ、矢張リ庶民
階級ノ是ハ負擔デアリマス、ソコデ庶民階
級ノ負擔ヲ其儘ニ致シテ置キマシテハ、サ

ウシテ中產階級以上ノ負擔ニナルモノ、創設ヲ見合ハスト云フコトニナリマスト、是ハ私ハ負擔ノ公正ヲ期スル所以デハナカラウト思ヒマス、社會政策ヲ行フト云フ政府ノ趣旨ニモ合致シナイカト思ハレマス、如ニモ通行稅ハ大分施行ニ慣レマシタカラス、其納稅ニ慣レテ居ルト云フ理由ヲ以テ其稅ノ存置ヲ主張スル點、是ハ理由ニハ私ハナラヌト思ヒマス、最モ阪谷男爵ハ慣レテ居ルカラト云フ理由ハ御述ベニナシテ居ラナカッタヤウデアリマスケレドモ、若シサウ云フ議論ヲスル考ガアレバ、慣レテ居ルカラ、苦情ヲ云ハヌカラ、是ハ存置シテモ宜イト云フノハ是ハ餘リ其種類ノ方カラ見マシテ酷ナ考ヘダラウト平素カラ考ヘテ居リマス、通行稅ヲ廢止スルバ、ソレダケ或ハ電車ノ會社、私設鐵道會社ガ運賃ヲ上ゲルト云フ場合ニ、認可權ヲ以テ抑ヘルト云フコトハ出來ルケレドモ、是ハ通行稅廢止ノ結果申出タルモノデアルカ、或ハ營業狀態ガ立行カラヌト、認可ヲ申請シタモノカ分ラヌデヤナイカト云フ御詰デアリマス、是ハ如何ニモ御説ノ通りデアリマス、若シサウ云フ會社デ運賃ノ引上ダラレナケレバ潰レル會社デアリマスト云フト、是ハ通行稅ノ廢止ト云フコトニ係ハラヌノデアリマス、通行稅ヲ廢止シタル其結果トシテ運賃ノ値上ダノ認可ヲ申請スルト云フモノハ、私ハ之ヲ甄別スルコトガ出來ハセヌカト思ヒマス、餘リ後ニナリマストソレハチヨット分リ兼不マス、營業狀態ガ混同シテ參リマスデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、要スカラ：併ナガラ大體ニ於テ平素ノ營業振リカラ考ヘマシテ、其區別ハ附キ得ルモノ

ルニ通行稅ノ納稅者ト資本利子稅ノ納稅者トハ全ク社會的階級ヲ異ニスル、從テ通行稅ヲ存置シ、其代ニ資本利子稅ヲ見合ハスト云フコトハ、ドウモ稅制整理ノ趣旨カラ申シマシテ政府ハ困ル、是非是ハ實行シタイトスウ云フ考ヘテ持テ居リマス、營業収益稅ノコトニ付テハ是ハ屢々皆様カラ質問ガアリマシタガ、私ノ不在中デアリマシテ主稅局長カラ詳細ニ申上ダテ置イタ通りアリマスガ、此稅率ハ別ニ高クナイト思テ居リマス、尤モ相當ノ苦情ノアルコトモ承知ヲ致シテ居リマスガ、ソレハ收益稅法ノ組織ニ依テ、施行ニ依テ、是マデヨリモ負擔ノ増ス部類ノ人ニガ苦情ヲ言ヒマスコトハ、是ハ當然ノ苦情デアリマス、其代リニ此整理ニ依リマシテ是マデヨリモ負擔ノ輕減サレル者モアリマスガ、負擔ノ輕減サレル者ハ默テ居リマスカラ分リマセヌケレドモ、其數カラ申シマスレバ相半バスルト申シマスカ、或ハ總額ガ四百万圓減リマスカラ負擔ノ輕減サレル人ガ多イ、是ハ道理デアリマス、其ノ人ニハ默テハ路傍デ捨ヘルノデアルカラ、炭酸瓦斯ヲ量ルコトハ出來ナイデハナイカ、サウ云フ疑ガアリマスガ、是ハ御承知ノ通り鋸詰デアリマスカラ、「一石ニ付テ幾ラト云フノデ課稅ヲ致シマスカラ、「ラムネ」ニ付キマシテハ含有ノ炭酸瓦斯ヲ計量イタシマセヌデ、直ニ其石數ニ向テ課稅ヲ致シマスカラ、御心配ニナル如キ煩雜ナコトハナカラウト思ヒマス、要スルニ……」

〔男爵阪谷芳郎君「鋸詰外ガアリマス」ト呼フ〕
○國務大臣(濱口雄幸君) 鋸詰外ノモノハハ局部的ノモノデ、私ハ何處マデモ全國的ニ、又營業ノ全體カラ言ヒマスト、負擔ハ平均シテ輕減サレテ居ルト云フコトハ、此四百万圓ノ總額ガ輕減ニナッテ居ルト云フコトニ依テ立派ニ證明サレルト思ヒマス、ヒマス、ソレカラ清涼飲料稅ノコトニ付キマシテ各方面カラ御説モ承リマシタ、承リマシタガ如何ニモ年額四百三十萬圓バカリ平年度ニ於ケル收入ニ當リマスケレドモ、是ハ本會議デモ男爵ノ御質問ニ對シテ御答

シマシタ通リ普通ノ水ト違ヒマシテ、即チ思テ店リマス、尤モ相當ノ苦情ノアルコトモ承知ヲ致シテ居リマスカラ、ソレハ收益稅法ノ組織ニ依テ、施行ニ依テ、是マデヨリモ負擔ノ増ス部類ノ人ニガ苦情ヲ言ヒマスコトハ、是ハ當然ノ苦情デアリマス、其代リニ此整理ニ依リマシテ是マデヨリモ負擔ノ輕減サレル者モアリマスガ、負擔ノ輕減サレル者ハ黙テ居リマスカラ分リマセヌケレドモ、其數カラ申シマスレバ相半バスルト申シマスカ、或ハ總額ガ四百万圓減リマスカラ負擔ノ輕減サレル人ガ多イ、是ハ道理デアリマス、其ノ人ニハ黙テハ路傍デ捨ヘルノデアルカラ、炭酸瓦斯ヲ量ルコトハ出來ナイデハナイカ、サウ云フ疑ガアリマスガ、是ハ御承知ノ通り鋸詰デアリマスカラ、「一石ニ付テ幾ラト云フノデ課稅ヲ致シマスカラ、「ラムネ」ニ付キマシテハ含有ノ炭酸瓦斯ヲ計量イタシマセヌデ、直ニ其石數ニ向テ課稅ヲ致シマスカラ、御心配ニナル如キ煩雜ナコトハナカラウト思ヒマス、要スルニ……」

○男爵阪谷芳郎君「鋸詰外ガアリマス」ト呼フ)
○國務大臣(濱口雄幸君) 鋸詰外ノモノハカラ、簡單ニ申シマスガ、此通行稅ト資本利子稅ト比較云々ヲ私ハスルノデナインデス、大藏大臣ガ通行稅ダケヲ廢シテ下サレバ論ハナイガ、資本利子稅モ起シテ、通行稅ヲ廢サナケレバナラスト云フコトハ私ハ此稅制整理ノ趣意ニ副フマイ、斯ウ云フコトヲ申スノデアリマス、ソレカラ營業稅ナリ飲料稅ナリニ付テハ尙ホ其稅法ノ所へ行、タラ詳シク御尋ね致シマス
○委員長(子爵前田利定君) 今日ハ此程度ニ止ドメテ散會イタシマス、明日ハ午前十時三十分ヨリ開會イタシマス
午後四時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵前田	利定君
副委員長	男爵阪谷	芳郎君